第11回 多摩大学 AL発表祭 レジュメ集

開催日　2019年12月14日（土）

午前の部　9:20～11:30
午後の部　13:00～16:00

会場　多摩大学　多摩キャンパス

A会場：001教室
B会場：101教室
C会場：201教室
D会場：112教室
展示物：アゴラ、101掲示板、201掲示板

TAMA UNIVERSITY
多摩大学

第 11 回 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭 レジュメ集

目　　次

主催者挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2019 多摩大学 AL 発表祭配置図・・・・・・ 4

A 会場(001 教室)座席指定表・・・・・・・・ 8

＜午前の部＞

B 会場(101 教室) ・・・・・・・・・・・・・ 10

C 会場(201 教室) ・・・・・・・・・・・・・ 24

D 会場(112 教室) ・・・・・・・・・・・・・ 34

＜午後の部＞

A 会場(001 教室) ・・・・・・・・・・・・・ 43

B 会場(101 教室) ・・・・・・・・・・・・・ 59

C 会場(201 教室) ・・・・・・・・・・・・・ 70

アンケートご協力のお願い・・・・・・・・・ 84

スクールバス・路線バスのご案内・・・・・ 85

多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長
金 美徳

開会のあいさつ

初冬の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度はご多用のところを多くの方々にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。多摩大学では開学以来、大学内の机上の学修にとどまらず、学生が地域をはじめとする学外のフィールドに出て自らの手と足を動かして活動し、行政・企業・NPO・地域団体・地域住民などのさまざまな関係主体と連携しながら、課題の発見と解決を目指すゼミ活動を行ってまいりました。

一般的に“学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法”と定義されるアクテ ィブ・ラーニングですが、本学が取り組んできた学習体系はまさにその先鞭をつけるものであったと自負いたしております。本学は、「4 年間ゼミ」を実施しており、ホームゼミは 34 ゼミを開講しています。また、寺島実郎学長がご指導されているインターゼミ(社会工学研究会:学生・院生　40 名と教員 18 名)は、11 年目を迎えました。

そして 2016 年度から、開学以来実践してきたアクティブ・ラーニングをさらに活性化すべく、「アクティブ・ラーニング支援センター」を設置、2019 年度には「アクティブ・ラーニングセンター」に名称変更し、従来のアクティブ・ラーニング技法の研究・開発や、図書・IT・学修サービスに加えて、教学マネジメントの役割も担う組織となりました。

また、多種多様なプロジェクト、研究活動、アクティブ・ラーニングプログラム(41 プログラム)を推進しています。本活動の成果を広く共有する機会として『第 11 回 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭』を開催させていただきます。地域の皆様はじめ、行政、企業、NPO、教育機関の皆様と交流を深めるとともに、新しいプロジェクト等が生まれるきっかけづくりになれば幸いでございます。

どうかお時間の許す限りごゆっくりとお過ごしください。

2019年度　多摩大学AL発表祭　教育目的　プログラム

会場	B会場　101教室			C会場　201教室			D会場　112教室		
司会・補佐	司会：中村　その子 補佐：小林　昭菜			司会：村山　貞幸　補佐：佐藤　文平			司会：加藤　みずき　補佐：高橋　恭寛		
時刻	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者
9:20～9:25	開会のことば			開会のことば			開会のことば		
9:25～9:40	BA-1	アジアにおけるシンガポールと日本	水盛ゼミ2年1班	CA-1	性	プレゼミX09-1 村山ゼミ	DA-1	ロードレース競技、多摩地域の発展可能性	バートルゼミ
9:40～9:55	BA-2	多摩大に新しい風を！多摩大学オリジナルグッズ提案	プレゼミY14-1 中村その子ゼミ	CA-2	飛騨高山ALにおける地域観光研究・商品開発・SDGs・中大接続の成果報告	飛騨高山AL	DA-2	多摩祭：奥多摩治助芋商品開発プロジェクト	松本ゼミ（2年生）志賀ゼミ
9:55～10:10	BA-3	中間国としてのウクライナと日本の立場	水盛ゼミ2年2班	CA-3	人口減少リスクに対応する観光・交通・流通対策－東日本大震災事例より	中庭ゼミ2・3年	DA-3	HuaweiとAppleから見る米中貿易摩擦	バートルゼミ
10:10～10:20	休憩(10分)								
10:20～10:35	BA-4	メキシコと日本の関係性	水盛ゼミ2年3班	CA-4	スマホは生活の中で人間関係をどう変えたか	プレゼミX05-2 中庭ゼミ	DA-4	欧州からのインバウンド客対策	バートルゼミ
10:35～10:50	BA-5	Youは何しにニッポンへ【留学生編】	プレゼミY07-1 梅澤ゼミ	CA-5	志企業　会社案内プロジェクト昭島版	松本ゼミ 佐藤洋ゼミ	DA-5	地域とサッカー	バートルゼミ
10:50～11:00	休憩(10分)								
11:00～11:15	BA-6	日土の交流と経済～国交95年を迎えて	水盛ゼミ2年4班	閉会のことば（10:50～11:55）			DA-6	コンビニとドラッグストアの比較	バートルゼミ
11:15～11:30	BA-7	日本から発信したいダークツーリズム	Siesta（サークル）				DA-7	ショッピングモールの現状について	バートルゼミ
	午前中　閉会のことば（11:30～11:35）						午前中　閉会のことば（11:30～11:35）		

2019年度　多摩大学AL発表祭　成果提示目的　プログラム

凡例：黄色　招待発表　｜　水色　多摩大学目黒高等学校1年生発表　｜　青　多摩大学目黒高等学校2年生発表　｜　ピンク　多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校

会場	A会場　001教室			B会場　101教室			C会場　201教室		
司会・補佐	司会：初見　康行　補佐：野坂　美穂			司会：中村　その子　補佐：西村　知晃			司会：趙　佑鎭　補佐：木村　太一		
時刻	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者	資料番号	発表タイトル	発表者
13:00～13:10	開会式 多摩大学アクティブ・ラーニングセンター長　金　美徳 総合司会：中庭　光彦								
13:10～13:25	AP-1	いまこいバルシステム 開発プロジェクト	帝塚山大学 経済経営学部 経済経営学科 チーム						
13:25～13:35	教室移動(10分)								
13:35～13:50	AP-2	東京経済大学・小木ゼミによる 企業とのコラボ活動 ～web国分寺物語、TFTランチ企画・販売、 こんなお菓子あったらいいな プロジェクト～	東京経済大学 小木ゼミ	BP-1	高校生が考える新しい商店街への 第一歩	めぐろイベント SG （目黒高校）	CP-1	環境の敵P	株式投資SG （目黒高校）
13:50～14:05	AP-3	Furniture inside your head	起業体験SG （目黒高校）	BP-2	多摩地域の産業から未来を描く ～住み続けたい街の実現に向けて	インターゼミ 多摩学班	CP2	奥多摩活性化プロジェクト： 回してまわろう奥多摩ガチャポン	松本ゼミ （3年生）
14:05～14:20	AP-4	A知探Qの夏 「被災地支援を考える」	聖ヶ丘高校	BP-3	旧西豊小学校校舎 再生プロジェクト	帝塚山大学 現代生活学部 居住空間 デザイン学科 チーム	CP-3	いちょう団地（祭り）について	多文化共生SG （目黒高校）
14:20～14:30	休憩・教室移動(10分)								
14:30～14:45	AP-5	モンゴル帝国と朝鮮半島	インターゼミ アジアダイナ ミズム班	BP-4	ロシアの文化について	多文化共生SG （目黒高校）	CP-4	アジアダイナミズム研修 米中のトゥキディデスの罠	アジアダイナ ミズム研修 （目黒高校）
14:45～15:00	AP-6	平等な医療の実現	株式投資SG （目黒高校）	BP-5	地域創生の現状と課題、 今後の方向性	インターゼミ 地域班	CP-5	アジアダイナミズム研修 高校生が考えたこと	聖ヶ丘高校
15:00～15:10	休憩・教室移動(10分)								
15:10～15:25	AP-7	願いを込める 増上寺和紙キャンドルナイトイベント	めぐろイベント SG （目黒高校）	BP-6	One coin Wi-Fi	起業体験SG （目黒高校）	CP-6	AI活用の現在	インターゼミ AI班
15:25～15:40	AP-8	多摩地域のコミュニティ形成～ 高齢者の社会参画と 地域づくりプラットフォームの 構築を中心に～	インターゼミ サービスエン ターテイメント 班	BP-7	多摩市シティセールス提案	中村そのこ ゼミ3年生	CP-7	TMU-TUM-BLER!!	起業体験SG （目黒高校）
15:40～15:50	教室移動(10分)								
15:50～16:00	閉会式 ご来賓挨拶　帝塚山大学経済経営学部経済経営学科 日置 慎治教授 理事長挨拶　田村学園理事長　田村　嘉浩 閉会の挨拶　多摩大学経営情報学部長　杉田　文章 総合司会：中庭　光彦								

成果物展示

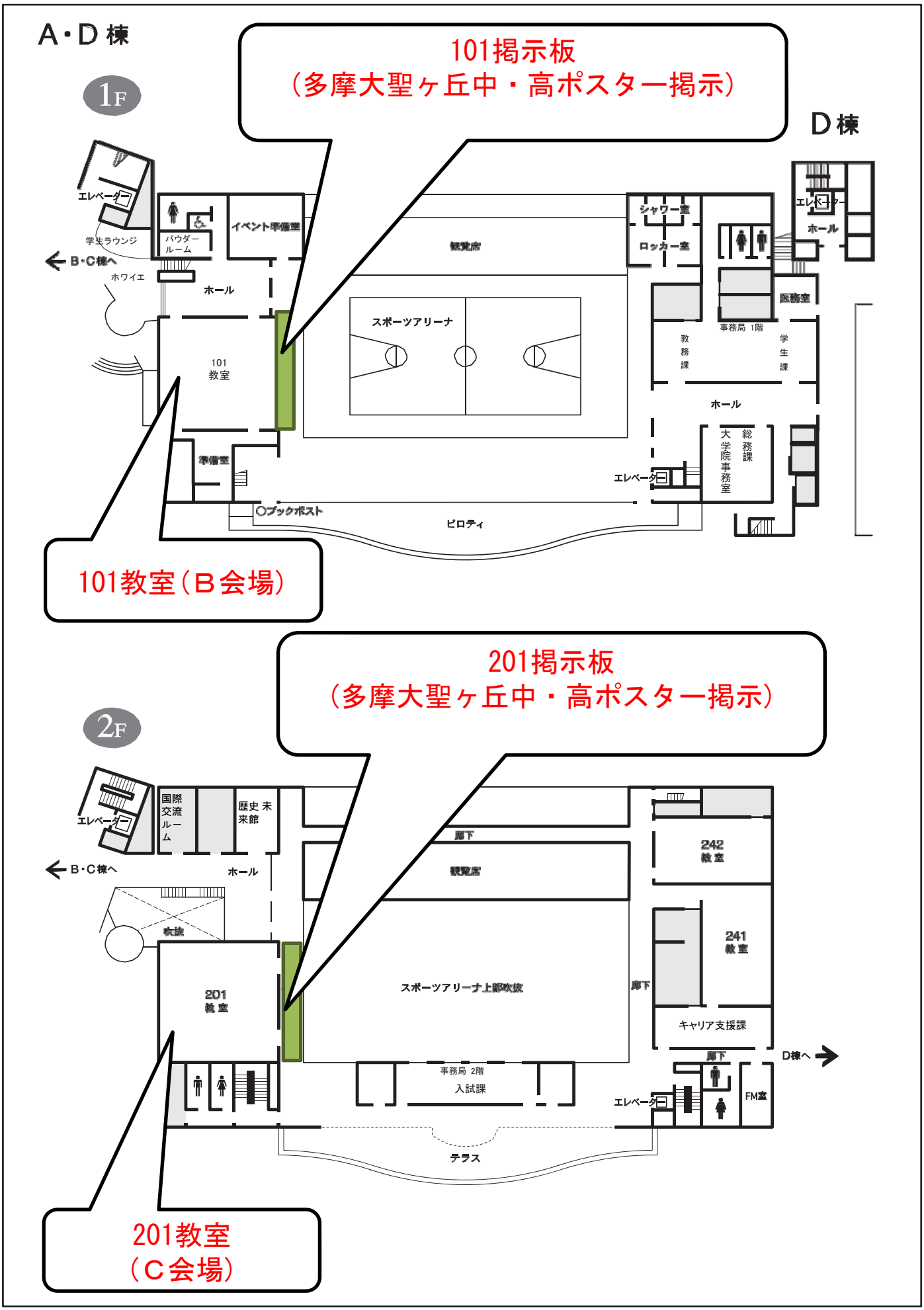
時刻	会場	展示タイトル	展示グループ名
13:35～15:30	アゴラ	対戦車防衛戦ゲーム	多摩大学目黒高等学校 山松桜上（1-3）、潮優成（1-1）
		RPGナイト	多摩大学目黒高等学校 大谷玲聖（1-6）、後藤大和（1-6）、垣花裕志（1-6）
		シューティングゲーム	多摩大学目黒高等学校 徳永直士
		アクションゲーム	多摩大学目黒高等学校 伊藤圭吾（2-3）、内谷尚樹（2-5）、佐藤柊映（2-7）
		アーケードゲーム	多摩大学目黒高等学校 姉川天（1-3）、島村晟玄（1-3）、山本涼人（1-3）、 内田遥人（1-3）、横山喬一（1-3）
		被災地支援について考える ～現地の方から教わったこと～	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校　A知探Q 『被災地支援について考えよう』チーム
13:00～16:00	101・201 掲示板	A知探Qの夏 学び発表	多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校

第11回　2019年度多摩大学AL発表祭配置図(1/4)

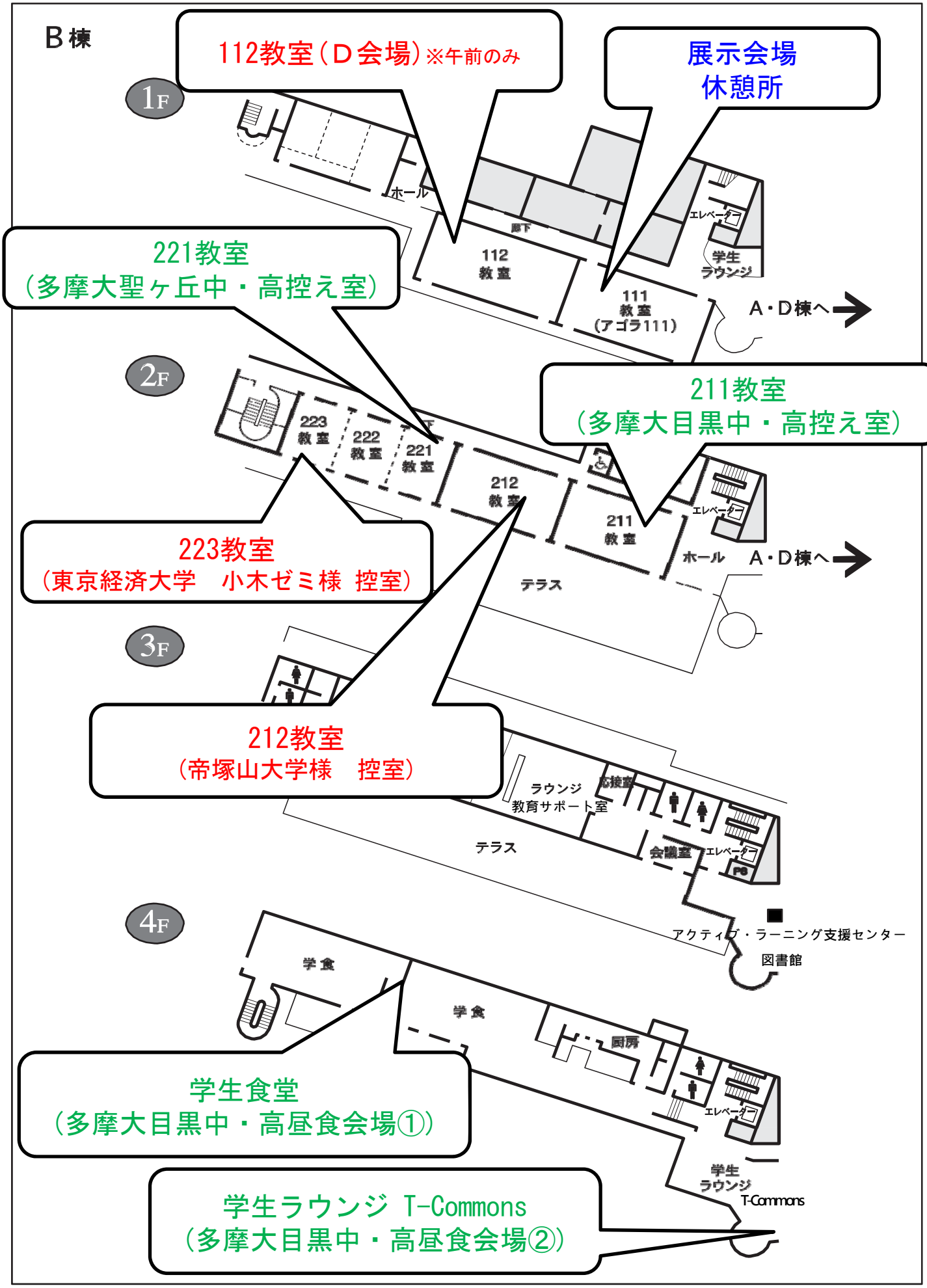
T-Studio　1F,2F
一般の方・多摩大学学生
昼食会場

001教室
（総合受付・Ａ会場）

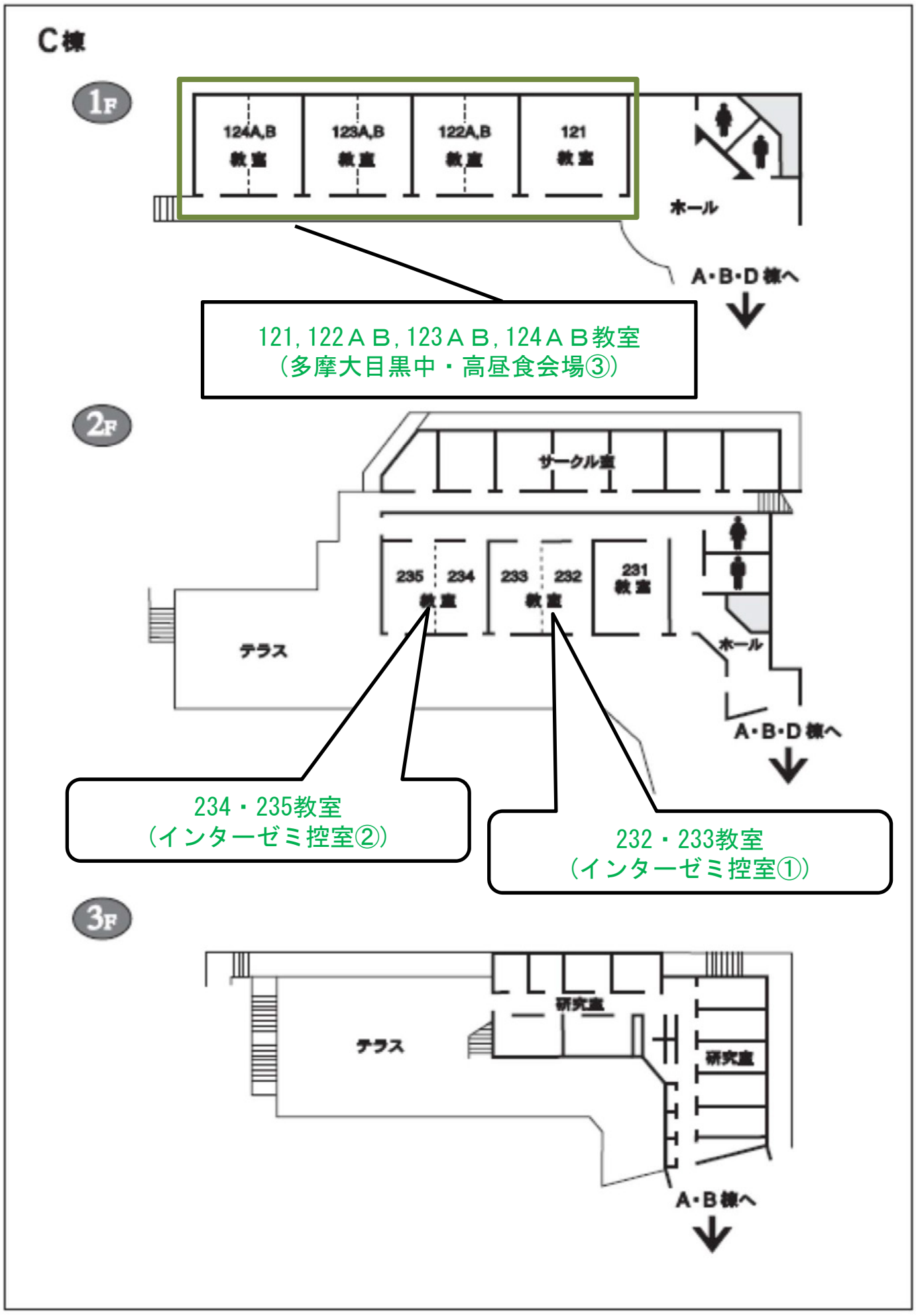
第11回　2019年度多摩大学AL発表祭配置図(2/4)



第11回　2019年度多摩大学AL発表祭配置図(3/4)



第11回　2019年度多摩大学AL発表祭配置図(4/4)

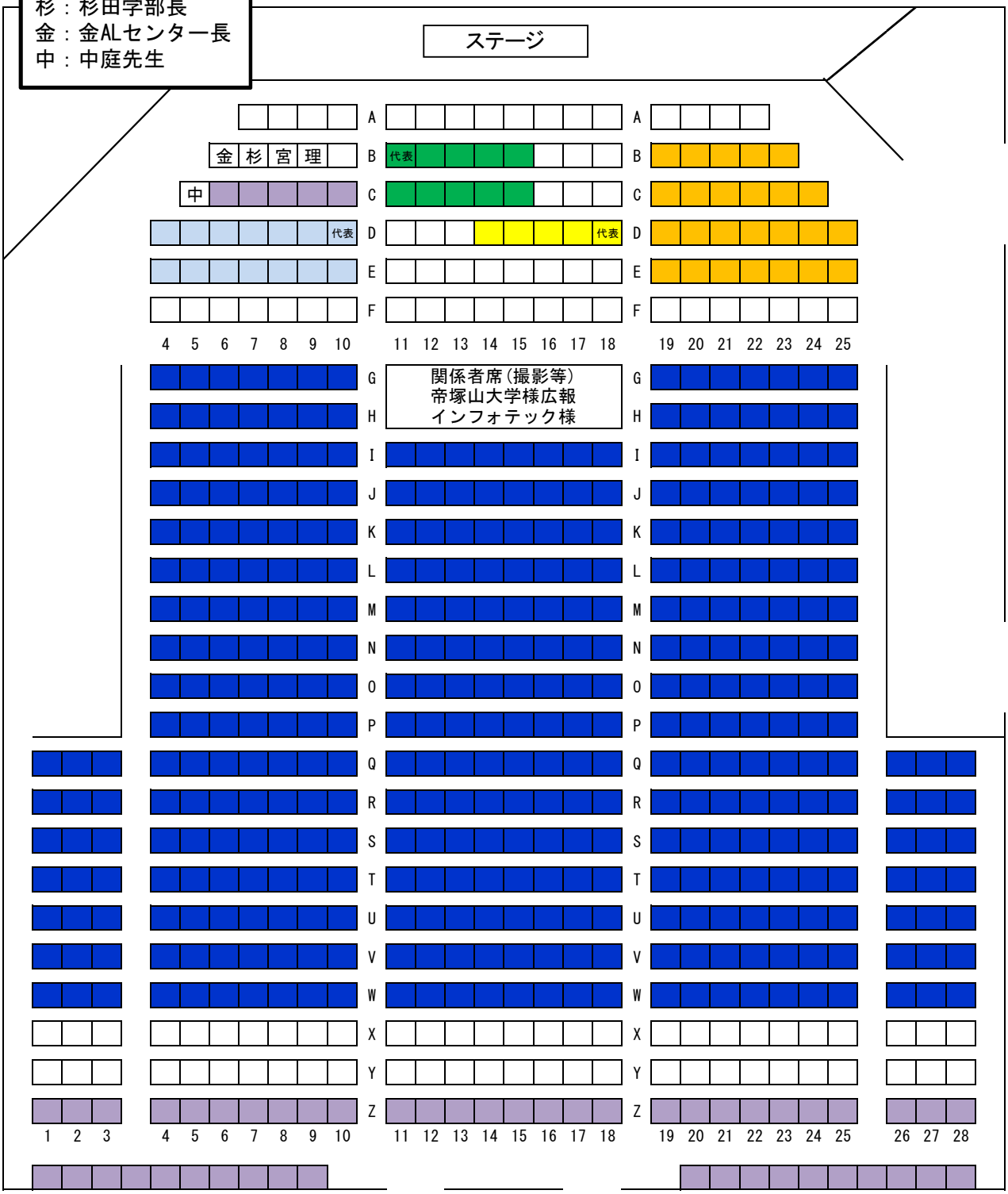


「第11回　2019年度多摩大学AL発表祭」(12月14日)座席表

凡例
理：田村理事長
宮：宮地事務局長
杉：杉田学部長
金：金ALセンター長
中：中庭先生

多摩大学多摩キャンパス００１教室

※青色(目黒中高)の座席は「開会式」、「AP-1帝塚山大学様発表」、「閉会式」のみ指定席、左記以外は自由席となります。



凡例

- ：東京経済大学様
- ：帝塚山大学様
- ：多摩大学目黒中学校・高等学校生徒
- ：多摩大学目黒中学校・高等学校教員、発表者(25席)※発表者は001教室で発表する生徒様のみ
- ：多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校
- ：多摩大学教職員
- ：自由席

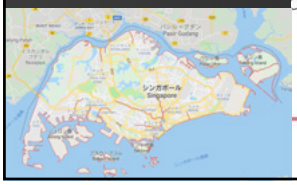
午前の部

レジュメ集

シンガポール基本情報

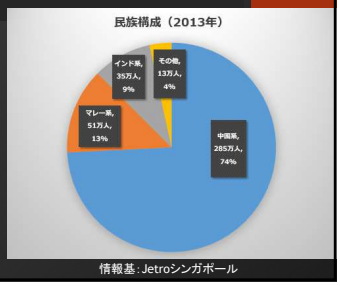
- **1 面積**
約720平方キロメートル（東京23区と同程度）
- **2 人口**
約564万人（うちシンガポール人・永住者は399万人）
（2019年1月）
- **3言語**
マレー語。公用語として英語，中国語，マレー語，タミール語
- **4宗教**
仏教，イスラム教，キリスト教，道教，ヒンズー教
- **5政体**
立憲共和制
- **6大統領**
ハリマ　ヤコブ

位置



国民構成

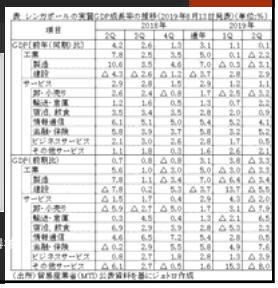
- 国民
中国系：285万人/74.2%
マレー系：51万人/13.3%
インド系：35万人/ 9.1%
その他：13万人/ 3.4%



情報基：Jetroシンガポール

シンガポールの経済成長率、主要産業

主要産業
製造業（エレクトロニクス，化学関連，バイオメディカル，輸送機械，精密器
運輸・通信業，金融サービス業



シンガポールはなぜここまで発展した？

海外企業優遇制度

法人税と所得税を安くして海外企業を誘致した

↓

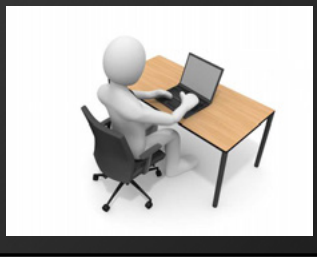
その企業が大きくなればシンガポール内にも雇用が生まれる

↓

国が豊かになる！！

シンガポールで起業するメリット

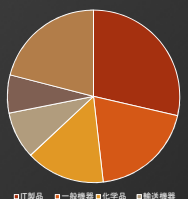
- 法人税が安い
- 情報が集まりやすい
- 通信環境が整備されている
- 業種規制がない



日本とシンガポールの貿易

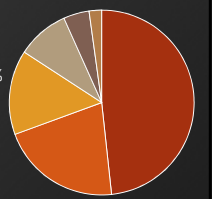
輸出

・輸出
IT製品　28.9%
一般機器　19.5%
化学品　14.8%
輸送機器　8.8%
石油製品　7.1%

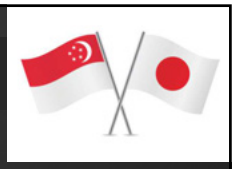


輸入

・輸入
IT製品　48.3%
一般機器　21.1%
化学品　14.8%
精密機器　9.1%
食料品　4.5%



日本との国交

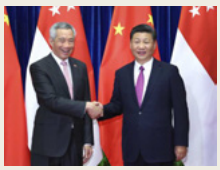


1966年4月26日にシンガポールと外交関係を樹立
在留邦人数
36,423名（2017年10月時点）
在日シンガポール人
8,622名（2018年6月時点）

	2014	2015	2016	2017	2018
輸出	834	957	811	955	1,075
輸入	2,225	2,403	2,155	2,541	2,584

	2014	2015	2016	2017	2018
対日直接投資（シンガポール→日本）	1,362	1,839	3,236	3,216	-296
対シンガポール直接投資（日本→シンガポール）	8,144	7,010	-18,581	9,478	15,909

一、政治関係



2017年新加坡总理李显龙访华

両国は1990年10月3日から外交関係を築き、それ以来、両国の上級官員の交流は頻繁。

二、経済と貿易関係

- 両国の経済と貿易協力は急速に発展している。2013年から2018年まで、中国は６年連続シンガポール最大の貿易相手国になり、シンガポールは６年連続中国の最大の投資国になった。

2017年中新经贸与投资合作论坛在新加坡召开

参考文献：双边关系--中国外交部、2017年新加坡总理李显龙访华、2017年中新经贸与投资合作论坛在新加坡召开

三、文化交流

林俊傑

孫燕姿

シンガポールの総人口は564万人、そのなか華人は74%を占めている。中国語はシンガポールの公用語の一つで、民間では広東語、みん南語などの中国の方言も使っている。

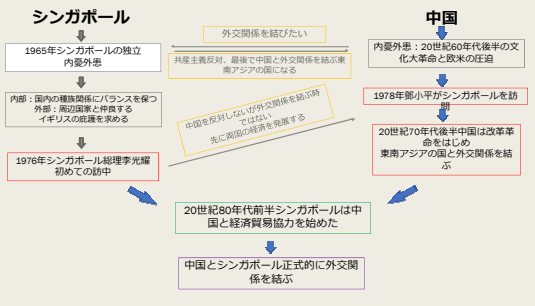
シンガポールのアーティストは中国での人気も高い。

四、シンガポールが中国に対して行ったの旅行政策

- 外交用パスポートや公用パスポートを持ち、シンガポールでの滞在期間は30日以内の中国公民はビザの手続きを免除できる。
- 、2019年1月28日から、シンガポールで乗り換える中国公民はビザなしでシンガポールに96時滞在できる。

参考文献：新加坡--中国领事服务网

中国とシンガポールの外交関係の結び



BA-1

多摩大に新しい風を！

ー 多摩大学オリジナルグッズ提案 ー

1年　　濱 大貴

私が今回提案するもの

「多摩大グッズの製品案」

他大学の商品リサーチ

大学名	具体的な商品
慶應義塾大学	タオル、キャップ、CD、食べ物、iPhoneカバー、湯呑、腕時計等
京都大学	扇子、レポート用紙、クリアホルダー、菓子類（飴、チョコ）湯呑、メモ帳、カレー　等
法政大学	カステラ、甘栗、扇子、バインダー、文房具　等
東北大学	ビール、煎餅、オルゴール、マグカップ、ライター、Tシャツ、扇子、文房具　等
お茶の水女子大学	一筆箋、バウムクーヘン（不二家コラボ製品）、マグプレート　等
同志社大学	八ツ橋、ボールペン、クッキー、バック、トートバッグ　等
東洋大学	キャップ、ニット帽、ネックストラップ、クッキー　等
津田塾大学	お豆腐クッキー、はがきセット、ノート　　等

傾向：

タオル/クッキーが人気傾向！！

また

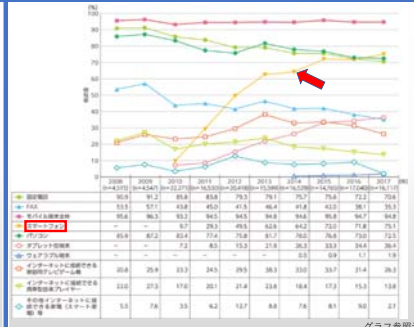
扇子 や **湯呑**

と言った
日本文化的製品も比較的商品化されていた

私が提案するもの

スマートフォンケース

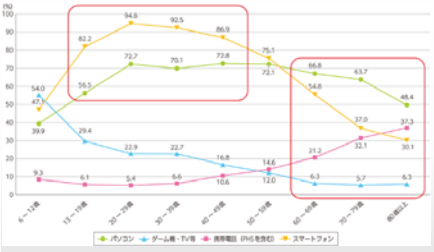
何故スマートフォンケースなのか？



・スマートフォンの普及率は
年々上がっている。
※2017年にてついにパソコンよりも普及

グラフ参照元：総務省　情報通信機器の保有状況（平成30年度）
http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/html/nd252110.html

何故スマートフォンケースなのか？



・また中高生/大学生の普及率が非常に高い。

大学生になってからスマートフォンを手にした人も多いのでは？

グラフ参照元：総務省　インターネット利用の広がり（平成30年度）
http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/html/nd142110.html

デザイン案A案

・デザインは白基調に校章を
上にあしらう。

・シンプルなデザイン

・学生証を入れるポケットが内側にあり

・内側に鏡を付けることで女性客も狙う

作成：オリジナルプリントJP
https://originalprint.jp/smart-phone-case?gclid=CjwKCAjw6vvoBRBtEiwAZq-T1ckEhpt90bjOAJL0UDJcToQ8OcjPjsxF1z-LkjDoV2G0wRrOg99-ZhoCkFQQAvD_BwE

デザイン案B案

・マークを入れたパターン

・多摩大非公式マスコット「ホーくん」を採用

使用するマーク→

具体的な商品内容

商品名：	多摩大スマホケース
値段：	未定（目安：800~1000円）
タイプ：	手帳型/通常型
販売方法：	学内セブンイレブン

今後の方針

本試作品を

多摩大オープンキャンパスでの参考展示

を目標としています

＝多摩大のPRに繋げていく！！

まとめ

・現在、オリジナル商品に乏しい多摩大ではあるが、今後の人気度の増加に伴い。
製品開発に尽力するべきである。

・せっかくの経営情報学部であり、経験豊富な教授陣による直接の指導を得られる
環境なのだから、製品開発を行い、将来の貴重な経験に繋げたい。

・自分の通う大学のグッズが欲しい学生も少なくないはずであり、そういったニーズ
を満たすことにより、大学へのロイヤリティを高めていきたい。

・以上の点から、今回、オリジナル製品である「多摩大スマートフォンケース」
を提案するものである。

ご清聴ありがとうございました

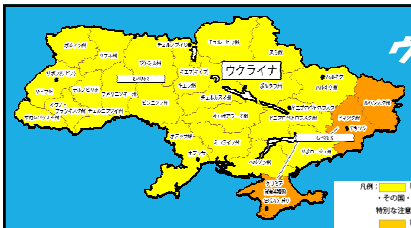
ウクライナ

学籍番号　21811183　氏名　庄司　剛
21811237　中野　愛由
21811313　町田　ひかる
21811395　渡辺　るい
21911613　呉　雨森

1　面積
60万3,700平方キロメートル（日本の約1.6倍）
2　人口
4,205万人（クリミアを除く）（2019年：ウクライナ国家統計局）
3　首都
キエフ
4　民族
ウクライナ人（77.8%），ロシア人（17.3%），ベラルーシ人（0.6%），モルドバ人，クリミア・タタール人，ユダヤ人等（2001年国勢調査）
5　言語
ウクライナ語（国家語），その他ロシア語等
6　宗教
ウクライナ正教及び東方カトリック教。その他，ローマ・カトリック教，イスラム教，ユダヤ教等。
7　文化関係
両国大使館の広報活動を通じて行われているほか、姉妹都市（京都市とキエフ市、横浜市とオデッサ市）の交流等草の根レベルで行われている。
2017年には日本、ウクライナとの外交関係樹立25周年に当たり、同年を「ウクライナにおける日本年」と位置づけ、ウクライナ各地で様々な日本文化行事が開催された。

1　主要産業（産業別構造比）
•鉱工業（24.8%），
•農林水産業（11.9%），
•建設業（2.7%），
•卸売・小売・輸送等（23.1%）
•（2018年：ウクライナ国家統計局）
2　国民総生産（GDP）
1,908億ドル（2018年：世銀）
3　一人当たりGDP
3,095ドル（2018年：世銀）
4　GDP成長率
3.3%（2018年：ウクライナ国家統計局）
5　物価上昇率
9.8%（2018年：ウクライナ国家統計局）
6　失業率
9.4%(2018年：ウクライナ国家統計局)
7　総貿易額
(1)輸出　473億ドル
(2)輸入　571億ドル　（2018年：ウクライナ国家統計局）
8 通貨
フリヴニャ（1フリヴニャ＝約4.35円）

ウクライナの治安



凡例：「レベル１：十分注意してください。」
・その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。
「レベル２：不要不急の渡航は止めてください。」
・その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
「レベル３：渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」
・その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。（場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。）
「レベル４：退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」
・その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。

ロシア料理の礎　ウクライナ料理

ウクライナの料理は、度重なる争いにより領土･領域が変わり続け、隣接するポーランドやベラルーシ、ロシアの料理と混交し続けたため、ウクライナ独自の料理を探すことは非常に難しいです。
ウクライナは、世界で一番肥沃な国土だと言われ、豊かな穀物が採れることから、ウクライナは「ヨーロッパのパンかご」とも呼ばれました。また、ビーツの栽培も盛んでソ連の砂糖生産の半分以上を占めたことから「ソビエトの砂糖壺」とも呼ばれました。

ビーツとは…ウクライナ料理のボルシチをはじめ、イタリア料理などにも使用されるアカザ科のサトウダイコンの一種である野菜。日本国内では埼玉県などで生産されている。

ウクライナと芸術

ウクライナ国立歌劇場

芸術を愛し芸術家を育むウクライナは、白鳥の湖やくるみ割り人形などのバレエ音楽で知られる作曲家チャイコフスキーとも縁が深く、18世紀になって本格的に広まったバレエは、ウクライナの伝統的な民族舞踊を取り入れるなどして、独自の発展を遂げてきました。
旧ソ連時代には「キエフ・シェフチェンコ・バレエ団(キエフ・バレエ)」は、モスクワのボリショイ・バレエ団やサンクトペテルブルクのキーロフ・バレエ団と並ぶ世界三大バレエ団として世界にその名をとどろかせました。キエフの国立オペラ・バレエ劇場を初め、ウクライナ各地には素晴らしいオペラ劇場があり、日本より手ごろな価格でバレエを楽しむことができます。
ウクライナは美意識の高さだけでなく美女が多いことでも知られ、キエフ・バレエも男女共にすらりとした長身、整った顔立ちのダンサーが数多く存在しています。

ウクライナの政治・経済

政体は共和制

党首
ヴォロディミル・ゼレンスキー大統領
（2019年5月～）元俳優？

（1）首相
オレクシー・ホンチャルク
（2019年8月～）

議会
（1）ウクライナ最高会議（ヴェルホーヴナ・ラーダ）
（定数450名，任期5年）
（2）議長：ドミトロ・ラズムコフ
（2019年8月～）
（3）国民奉仕者党による単独与党

（2）外相　ヴァディム・プリスタイコ
（2019年8月～）

ウクライナと日本2

日本の援助実績
有償資金協力1,690億円
無償資金協力98億円
金融支援580億円
チェルノブイリ・核不拡散関連支援219億円
技術協力65億円

主要援助国
日本，EU，米国，ドイツ，カナダ，
英国，スウェーデン，スイス，オランダ

（1）日本の対ウクライナ貿易（2017年：財務省貿易統計）
（ア）輸出　509.3億円（イ）輸入　707.7億円

（2）主要品目（2017年：ウクライナ国家統計局）
（ア）輸出　自動車，機械・装置類，
電気電子機器，光学機器

（イ）輸入　タバコ，鉱石，
穀物，アルミニウム

（3）日本からの直接投資
（2018年末時点の累計：ウクライナ国家統計局）
1億3,900万米ドル

ウクライナ　輸出　輸入

輸出国	輸入国
ロシア 7.7%	ロシア 14.2%
ポーランド 6.9%	中国 13.3%
イタリア 5.6%	ドイツ 10.5%

（2018年：ウクライナ国家統計局）

貿易主要貿易品目

輸出
鉄・鉄鋼（21%），穀物（15.3%），
油糧（9.5%），鉱石（6.4%）

輸入
鉱物性燃料（23.6%），機械（11.3%）
電子機器（9.6%），
自動車等輸送機器（7.4%）

（2018年：ウクライナ国家統計局）

友好関係

- ウクライナは1991年8月24日に独立国家となり、中国は数ヶ月後の1992年1月4日にウクライナと国交を樹立し、ウクライナの独立を最初に認め、国交を樹立した国の一つである。
- 2011年6月20日、ウクライナと中国は戦略的パートナシップを構築した。
- 2013年12月5日、両国は『中華人民共和国とウクライナの友好合作条約』に調印した。

領土問題

台湾問題

- ウクライナの外相は2002年に北京を訪問した際、「一つの中国」を強調し、「二つの中国」、「台湾独立」に反対する立場を表明した。
- 2010年、ウクライナの大統領は共同声明でこの立場を改めて強調した。

クリミア問題

- 2014年、国連安保理はクリミア国民投票問題の決議案について採決を行い、中国側の代表は棄権した。

経済

22億ドル
中国はウクライナの輸出国の第六位

76億ドル
中国はウクライナの輸入国の第二位

53.9億ドル
中国に対して、ウクライナは貿易赤字状態にある

一帯一路
ウクライナは最初に「一帯一路」に支持した国の一つであり、2014年に協定書に調印した

観光

ウクライナは中国人観光客に到着ビザを実施している

ウクライナはエキゾチックな風景と文化の特色を持って、中国人観光客の海外旅行の新しい目的地になった

2017年と比べると、77%増えた

BA-3

経済事情①

- 人口　約1億2,619万人（日本約1億2,615万人）
- 面積　196万平方km（日本の約5倍）
- 首都　メキシコシティ Mexico City(約2,000万人)
- 通貨　1＄＝約19.9ペソ

つまり!!

国全体で見て人口密度は日本の約5分の1!!!!

経済事情②

- 言語　スペイン
- 民族　欧州系（スペイン系等）と先住民の混血（60%），先住民（30%），欧州系（スペイン系等）（9%），その他（1%）
- 宗教　カトリック9割
- 元首　アンドレス・マヌエル・ロペス・オブラドール大統領（2018年12月1日就任，任期6年，再選不可）

ヨーロッパ人のアメリカ征服

1519年：スペイン人がメキシコに上陸

その当時栄えていたアステカ帝国はスペイン人が持ち込んだ風疹や天然痘に苦しめられ滅亡。メキシコはスペインの植民地に…

ココから約300年間メキシコはスペインの植民地として支配され続け、さらにその間周防会陰人が持ち込んだ風疹や天然痘により、人口は当時2500万人から100万人まで落ちた。

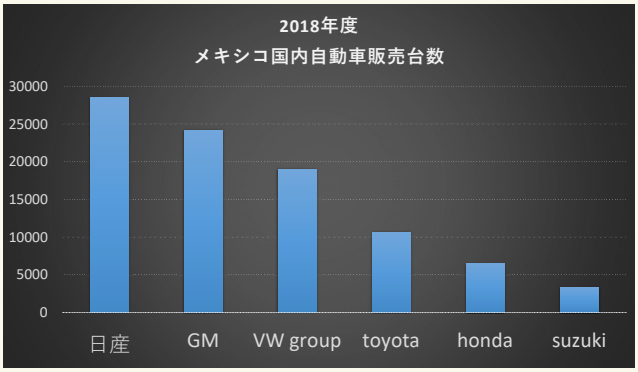
1808年：フランス帝国がスペインに侵攻し、ナポレオンが兄のジョゼフをスペイン王位につけ、スペインの民衆がそれに反発をしているタイミングでスペイン独立運動が始まり、その後も独立革命が勃発。

1821年：13年間にも及ぶ戦いの末、メキシコはスペインからの独立を達成する。

米墨戦争

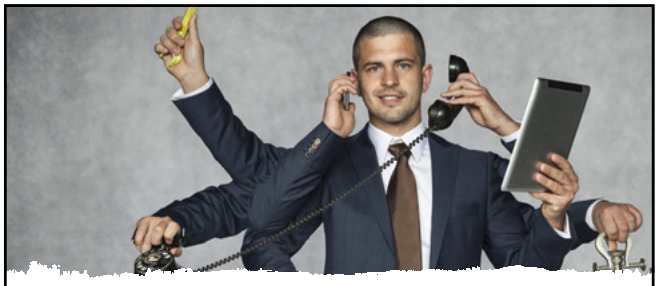
- **1836年に当時、ついにスペインから独立したメキシコは領土内のテキサスへの米国人の移民を許可。テキサスは米国人が急増した。**
- **1845年にはアメリカはテキサスを併合し、勝手に領土を侵されたメキシコは抗議するものの、米墨戦争に発展してしまう。**
- **結果的にアメリカとの領土戦争の末、メキシコは国土の半分近くを失った。**

国本伊代編『概説ラテンアメリカ史』p.161 より



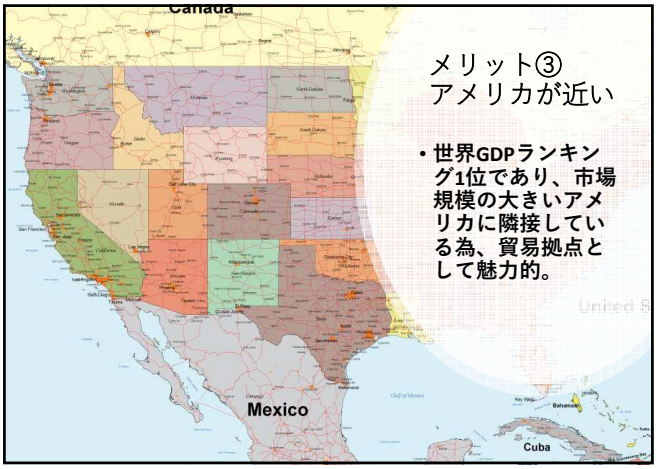
メリット①
人件費が安い

- **平均年収　172万**
  （日本の平均は450万）
- **労働時間　2257時間**
  （日本の平均は1759時間）



メリット②
関税がかからない

・メキシコは45か国と自由貿易協定を結んでいるため関税がかからない。



メリット③
アメリカが近い

・世界GDPランキング1位であり、市場規模の大きいアメリカに隣接している為、貿易拠点として魅力的。

以上のことから!! !!

- 今、日本に市場規模だけでは成長が停滞している企業が多い、その分海外進出を考えている企業も多いが、やはりリスクやその難しさで実現できていない。
- 今回考える事業は海外進出を考えている物の実現できていない企業が抱える、言語やリスクなどの課題解決をサポートするBtoB事業である

会社名
MC group　(Mizunomori Company)
理念
海外ビジネスの壁をぶっこわーす
主な事業内容
企業の海外進出を言語や現地での知識的面でサポートする。

政治関係

- 中国は1972年2月14日にメキシコと外交関係を結びました。
- 2003年12月、両国は戦略的合作パートナーとなりました。
- 2013年6月、両国関係は全面的、戦略的な合作パートナーに強化されました。

経済と貿易

- 中国はメキシコ第二位の貿易相手国であり、
- メキシコは中国の中南米州第二位の貿易相手国であります。
- ちなみに、メキシコの第一位貿易相手国はアメリカです。
- 主要輸出、輸入品目主にはパソコン、通信技術部品や原油などであります。

旅行

- 今、中国とメキシコの旅行協力関係は日々強がっていきます。
- メキシコ旅行局は中国語のホームページやweibo wechatなどのSNSアカウントを作離ました。その上に、毎年上海、北京などの都市で宣伝会を行い、中国の観光を求めています。
- だが、厳しいのはメキシコの治安問題です。不安定な社会環境は観光客の心配になります。中国駐メキシコ大使館は中国からの観光客に安全問題についての注意事項を発表したこともあります。
- だから、海外観光客にとって、治安問題を注意しなければなりません。
- メキシコ政府は、旅行産業を進めるため、どうやって治安を改善し、観光客が楽にメキシコのことを楽しめる雰囲気を作るのは、今の一番重要な課題だと思います。

You は何しにニッポンへ - 留学生編

プレゼミ Y07 クラス：イエン ジャチ、キン インシー、曽根 翼、高橋門汰、田口皐光、津田真結花、初田有哉、
藤本 毅、藤本凛人、松永怜士、三田裕士、宮腰 裕、茂木香樹、山口紗恵子、吉田成子
担当教員：梅澤佳子、担当 SA:菅原侑士

１．研究の動機・目的

近年、インバウンド(Inbound：訪日外国人旅行)だけでなく、留学を目的とした訪日外国人も増加している。独立行政法人日本学生支援機構の調査によると、2018 年 5 月の留学生受入れ人数は 298,980 人で、前年と比べただけでも 12%増となっている。

今年度、多摩大学経営情報学部には、6 ヵ国 46 人の正規留学生、3 ヵ国 37 人の交換留学生が在籍している。私たちのプレゼミ Y07 クラスでは、台湾とミャンマーからの正規留学生 2 人が一緒に学んでいる。プレゼミを通じて留学生と親しくなり、留学の目的や母国での生活などについて聞く内に、私たちは日本という小さな島国を留学先に選び来てくれた留学生の事を理解していないということに気がついた。留学生は、いつ、どのように日本という国を知ったのだろうか？留学先としてなぜ日本を選んだのか？卒業後は、どこで、どのような仕事をするのだろうか？どのような目標や夢があるのだろうか？

本調査の目的は、多摩大で共に学ぶ留学生や訪日留学生にインタビューを行うことで、留学生への理解を深めることである。あわせて、普段私たちが気づかない、留学生から見た日本の魅力、特異性、潜在的な可能性についても調査したいと考えた。

２．調査の概要

調査対象者は、本学の留学生のみならず、対象を外部の留学生にも広げることにした。調査エリアは、留学生が多く所属する他大学、留学生が足を運びそうな渋谷、新宿、外国人が先ず日本の地を踏む羽田空港国際線ターミナルとした。調査チームは、2～3 人をグループとし 5 チームにより行った。調査方法、調査対象者等についての詳細は、以下の通りである。

【調査期間】10 月 23 日（水）～11 月 3 日（日）
【調査エリア】東京都（渋谷・新宿駅周辺・町田・羽田空港）多摩大学多摩キャンパス内【調査対象】訪日外国人留学生 5 人、訪日外国人 32 人【出身国】13 カ国（中国、韓国、台湾、ミャンマー、タイ、ネパール、アラブ首長国連邦、カナダ、米国、アイルランド、フランス、オーストラリア、スペイン）【調査方法】インタビュー調査

３．調査報告

（１）留学生のインタビュー調査から

留学生が**「日本を知った理由」**で最も多かったのは、ゲーム、漫画、アニメであった。具体的にはガンダム、コナン、キャプテン翼、ワンピースなどが挙げられた。日本語の勉強もアニメのセリフを暗記したり、バライティー番組などを通じて行っていた。**「日本を留学先して選んだ理由」**は、「将来、家業を継ぐ」、「日本と関わるビジネスを展開したい」ということから、日本の経営について学ぶということが一番多かった。また、日本の文化を学ぶことも挙げられた。アジアの留学生からは、自分の国と距離、経済、文化的にも近いということ、治安が良いということが挙がっていた。欧米の方からは、より具体的に「銃社会ではない」ということが複数挙げられていた。**「将来の目標」**は、日本を留学先として選んだ理由と繋がっていた。具体的には「家業を継ぐ」、「将来、起業したい。」、「日本で就職したい。」「学生ながらすでにビジネスを始めているのでさらに展開させたい。」、「日本の文化を学び外国人観光客の案内をしたい」、「母国では大学を卒業しても就職が難しいことから、日本の大学から大学院に進学し学び続けたい。」などであった。**「日本に来ての印象」**について尋ねたところ、来日する前は、日本人は静かで礼儀正しく、マナーが良いイメージだったが、実際に来日してみると、若者は活発で個性的な人が多かったということである。また、「講義が騒がしい」ということが複数の留学生から挙げられた。この点

は、学ぶために留学している学生たちの立場で考えるとかなり迷惑な事だと思った。日本人学生として反省すべきところである。学生生活の面ではもう一点「日本の学生は勉強をしない」と言う留学生が多かった。母国では高校生は受験勉強に忙しく、大学生も勉強が大変なため、遊ぶ時間がないと言うことであった。インタビューを通じて色々な話をすることができた。ドバイからの留学生の好きな日本語は「梨」と「免税店」。また多くの留学生が、「ヤバイ」の使い方が多様すぎてヤバイと言っていた。

（２）日本で生活してみて感じたこと、困っていること

日本に来て**一番先に困ることは「家探し」**であった。外国人ということで敬遠されることがあり、賃貸契約に関する難しい専門用語を理解しなければならず、高い日本語能力が問われることが理由である。日本語能力については他にも、尊敬語、謙譲語といった敬語の使い方、日本のメールなどが難しいことが挙げられた。第二に、**大学の勉強と日本語の勉強が忙しく、アルバイトもしなければいけないのに両立が難しい**点。アルバイト先が見つかったとしても、接客用語、お店で使う専門用語などの日本語能力が求められ困っているようだ。**日常生活のそれぞれの場面で、語学に関する困りごとが多い**ことがわかった。

中国の留学生は、母国はネット決算が主流になっている為、**現金決算が難しい**ということであった。

(３)留学生のインタビュー調査から気づいたこと、学んだこと

今回のインタビュー調査から私たちが気づいたこと、学んだ事は以下の通りである。**第一に、留学生は将来のビジョンをしっかり持っていた。**同時に、日本人の学生と違い**のびのびと楽しそうに学んでいる**ように感じた。留学生も私たちも、思い描いている他国へのイメージは、単なるイメージであり、実際に行ってみないとわからないと言うことがわかった。他国を理解したいのであれば実際にその国に行って自分の目で確かめてから発言するべきだと思った。

４．まとめ - 今回のフィールドワークを通じて

1 グループが学内調査、4 グループが学外調査を行った。学外調査チームは、いざ実際にインタビュー調査を始めるとなると物凄く緊張し、本当に出来るのか心配になった。最初のに声をかけるところがどのチームも本当に大変だったが、それを乗り越えるとインタビューがだんだん楽しくなり、コツがつかめてきた。最初は冷たく断られるのではないか、怒られたらどうしようかと不安だらけだったが、話しかけてみると皆、とても優しく応じてくれた。英語はほとんど通じていなかったようだが、こちらが何を聞きたいかを必死に理解しようとしてくれた。私たちの人柄がよかったのか、警戒されることはなかった。インタビューを続けるうちに、もっとよいインタビューがしたくなり、その場で必死に英語を調べ準備した。また、男子学生は警戒されないように、タピオカの列に並んで待っている留学生っぽい女子学生の後ろに並んで声をかけ、インタビューに答えてもらうなど工夫した。訪日外国人、留学生ということもあるが、皆とても優しく、温かい方たちだったというのが全員の思いである。今回のインタビューを通じて「少しの会話でも外国の方と話すのはとても楽しいと感じた。英語をもっと勉強しておけばよかった、もっと勉強しようと考えるようになった。」、「多くの訪日外国人とたくさんの話をして、とても視野が広がった。」、「快くインタビューを受け入れてくれる心の温かい外国の方が多いため、質問した側も心温まり楽しい時間を過ごせた。」、「外に出て自分の目で見て空気に触れることが大切だと気づいた。」など、語学への興味関心、海外への興味関心がひろがった。ただ、調査インタビューの内容を話せても文章に表現できないことが分かった。

梅澤先生から調査報告書の内容の甘さを指摘され、学内組は再調査、学内組・学外組は報告書を再提出することになった。留学生が多くいそうな他大学にも出かけ調査する予定だったが出来なかったことも反省点である。

謝辞

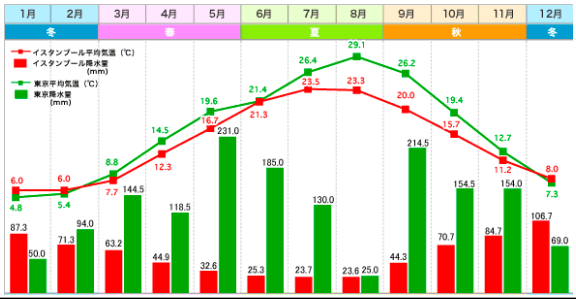
快くインタビューを引き受けて下さった多摩大学留学生、留学生、訪日外国人の皆様、ご支援いただいた教員の皆様に感謝申し上げます。特に羽田空港での調査の際、温かく見守っていただいた野坂先生に厚く御礼を申し上げます。

【引用資料】

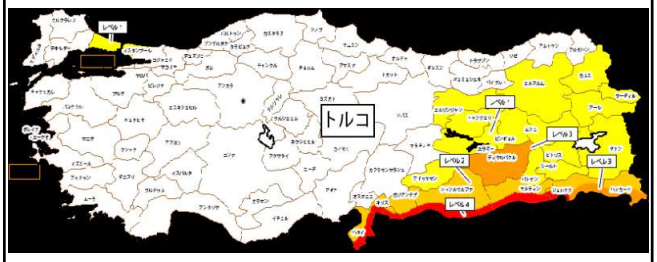
1)観光庁 HP
「訪日外国人旅行者数・出国日本人の推移」
2)独立行政法人日本学生支援機構「平成 30 年度外国人留学生在籍状況調査結果-留学生の推移」より

トルコの位置

気候

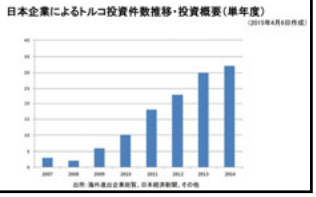


トルコの治安



有名企業の進出

- パナソニック
  現地に連結子会社があり2017年に子会社の名前をヴィコ・エレクトリックからパナソニック・エコソリューションズ・トルコに変更。
- トヨタ自動車・トヨタ紡織
  カローラセダンの生産
  シート、内装品製造



宗教

- 宗教割合
  イスラム教　99%（約812万人）
  その他　　1%（約8万人）
- イスラム教とは
  ー教え（聖典：コーラン）の起源は7世紀
  初めのアラビア半島
  ー信仰の告白、礼拝、喜捨、断食
  聖地メッカへの巡礼、および神の教えで
  定められた行動規範を守ることが義務

世俗主義から始まるトルコ

- 初代大統領のムスタファ・ケマル・アタテュルクによる
  政教分離、世俗化
  ー国教をイスラム教とする憲法条文の削除
  ーカリブ制の廃止
  ーイスラーム暦廃止、太陽暦に
  ー公の場でスカーフの着用禁止
- 信教の自由により戒律の捉え方は自己判断
  →緩和状態

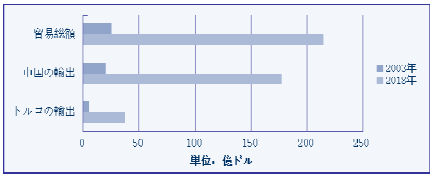
大統領就任中のアタテュルク

15年間の貿易成長

①貿易総額
2003年：25.98億ドル
2018年：215.5億ドル
8倍の増加

②中国の輸出
2003年：20.65億ドル
2018年：177.9億ドル
8倍の増加

③トルコの輸出
2003年：5.33億ドル
2018年：37.6億ドル
7倍の増加



連携分野：交通、エネルギー、通信、貿易、旅行等

中ト貿易投資合作論壇ー経済貿易連携を (2019年9月6日)

「科学技術の進歩は中国やトルコなどの発展途上国に先進国を追いかける機会を与えた。中国は今や**オリジナリティ（創新）で発展を駆動する**戦略を行い、トルコを含め、多くの発展途上国との連携に取り組んでいる。」－中国駐トルコ大使 鄧励

「中国はすでにドイツとロシアに次ぐ、トルコの重要な**貿易パートナー**となった。トルコの企業は中国との連携を幅広く展開していくはず。」
－トルコ貿易部長 Ruhsar Pekcan

⇨ 2019年夏:
トルコの**さくらんぼ**、中国へ大口輸出

下半期:
乳製品も中国市場に輸出見込み

「一帯一路」の成果　**5億ドル**の軽便鉄道輸出

(2018年10月30日)

中国の軽便鉄道

「一帯一路」と「Middle Corridor」の融合へ

「一帯一路」

「中央経済回廊」のために用意した港を、「一帯一路」に投入

中国は、どうやって融合させる?

① トルコが「**アジアとヨーロッパの中枢**」になるようにトルコと協力 ⇨高速鉄道の建設ポジェット

② トルコの港との協力を強化する

③ なるべく他国の利益も兼ね合う（ギリシャ）
⇨競争関係ではなく、**相補関係**へ

トルコ大統領Recep Tayyip Erdoganと中国国家主席習近平
北京で面会

BA-6

ダークツーリズムとは何か

災害被災跡地、戦争跡地などといった人類の死や悲しみを対象とした観光のこと。この様な場所を「負の遺産」という呼び方をすることもある。

ブラックツーリズムや悲しみのツーリズムといった呼ばれ方もある。

アウシュヴィッツ収容所などが例として挙げられる。

呉市海事歴史資料館（大和ミュージアム）

所在地　〒737-0029 広島県呉市宝町5-20
訪問日　2019年9月4日

呉市海事歴史資料館（通称：大和ミュージアム）は、戦前から戦後にかけて呉市における船舶製造技術の歴史を基軸に、呉海軍工廠（くれかいぐんしょうこう）で造られた船舶、戦艦大和の計画から沈没までの歴史などを展示した資料館である。

入館して目の前に現れる10分の1スケールの戦艦大和は、設計図、当時の写真、潜水調査などにより復元された模型である。甲板の木材は、実際に使用されたものと同じヒノキを採用している。

全長26.3メートルもある10分の1戦艦「大和」
撮影者：遠藤 光一（多摩大3年）

呉市海事歴史資料館（大和ミュージアム）

呉市海事歴史資料館には戦艦「大和」の模型、歴史などの展示の他に、第二次世界大戦の際に、大日本帝国海軍によって運用されていた零式艦上戦闘機、戦艦金剛に使われていたボイラー（レプリカ）など多くの展示品がある。

また、船舶開発、運用のための原理を子供向けに分かりやすく伝えるためのエリアもあり、戦前から現在までの造船技術、船舶運用の技術も学ぶことができる。

今回の参加者からは、戦艦大和の建造に費やされた技術、大和の歴史、大戦に関わった人々の声から多くの学びを受けたという答えがあった。

零式艦上戦闘機六二型（実物）

戦艦「金剛」に搭載されたボイラー（レプリカ）
撮影者：遠藤 光一（多摩大3年）

広島平和記念資料館（通称：原爆資料館）

所在地　〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-2
訪問日　2019年9月5日

今年度行われた本団体の夏季旅行（2019年9月3日～2019年9月5日）の3日目に訪れた広島平和記念資料館（通称：原爆資料館）では、1945年（昭和20年）8月6日に投下された原子爆弾の惨状を後世に伝える為に開館された。

我々が訪れた際には本館のリニューアルは終了しており、被爆再現人形」などおおくの展示品も更新されている。

また、海外からの見学者も非常に多く見受けられ、解説文も多言語化されている。無料配布を行っているリーフレットは8言語（英、中、韓、独、仏、伊、露、スペイン、ポルトガル）に対応している。

広島観光ナビより引用

撮影者：遠藤 光一（多摩大3年）

館内の展示に関する大まかな内容

1. **原爆投下前後の広島**
   立体地図と3D映像により原爆の威力、影響範囲が分かる。
2. **放射線による被害**
   放射線被害を展示品、資料によるデータで解説。
3. **被害者の声**
   被爆後の放射線による後遺症等の記録を綴った日記の展示。
4. **核兵器の危険性**
   広島への原爆投下理由、破壊力について核所有国当等からのデータを展示。
5. **広島の復興の歩み**
   終戦からの広島の復興、現在に至るまで。他の放射線被害例について解説。

被害が分かるホワイトパノラマ
美術手帖より引用

熱戦により人影が残った建物
広島平和記念資料館HPより引用

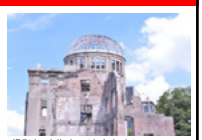
原爆ドーム前にてボランティアの方の話

■ 広島がターゲットとなった理由

戦時中、「武器庫」と呼ばれるほど武器製造を行っていた広島は、原爆投下後の経過実験を明確に記録できるという立地に恵まれていた。そのため、米国は原爆投下後の経過の記録を効率的に収集し、実験結果が明確に記録できるということが理由で広島に投下した。

■ 原爆投下後の経過観察について

実験結果をより正確にするため、広島は空襲の被害を抑えられていた。また原爆投下に伴う日本の戦意喪失も狙いの一つであった。投下候補地は複数の候補があったが、当時の天候によって広島へ決定した。
天気を確認する航空機と投下をカメラで観察するための航空機温度計を落とす航空機などがいた。原爆を正確に落とすため、戦時中には様々な場所で練習が行われていた。


撮影者：遠藤 光一（多摩大3年）

外国人観光客に説明を行うボランティア
撮影者：遠藤 光一（多摩大3年）

BA-7

なぜ沖縄で「平和学習」をするのか

「沖縄戦」

- 1945年3月26日(組織的な戦争は4月2日)から6月23日まで、沖縄諸島に上陸したアメリカ軍とイギリス軍を主体とする連合軍と日本軍との間で行われた戦い
- 戦没者は20万人 (そのうち94,000人が民間人であった)

平和学習の拠点としての「沖縄」

- 沖縄県は高校の修学旅行訪問先で1位(2017年度/6年連続)
- 訪問先の1位は「沖縄平和祈念公園・平和の礎」
- 「平和学習、異文化体験、自然体験の3要素がそろう、本土では体験できない国内訪問先として貴重」とされている

1945年4月	米軍が本島に上陸開始
1945年6月	牛島満中将自決
1945年8月	日本無条件降伏
1952年	サンフランシスコ平和条約発効(日本独立・沖縄は米軍の下へ)
1955年	6歳の少女が米軍に殺される(由美子ちゃん事件)
1972年5月	沖縄返還
1995年	平和の礎完成
1996年	日米間において、5~7年以内の普天間飛行場全面返還に合意
2004年	沖縄国際大学にヘリ墜落

「平和学習」の場所

ひめゆりの塔

【負傷者の看病などを行った壕の跡に立つ慰霊碑】

- 一人一人が体験した戦争の恐ろしさと命の尊さを語り継いでいく(戦後継承)ため

平和の礎

【沖縄戦で亡くなった全ての人の名前が刻まれている礎】

- 国籍、軍人、民間人の区別なく生きた証を残すことで、世界平和を願っている

2019年8月11日 藤田功希 撮影

ガマ

【沖縄県民にとっての隠れ場所】

沖縄戦で多数の住民が避難したり、日本軍の陣地や野戦病院として利用されていた

- 沖縄戦を学ぶ「体験学習の場」

→ 死の恐怖にさらされながらも生き延びようとした当時の住民たちの心を感じ取ってもらう

http://tour-okinawa.com/apogama/

「なに」を語り継いでいくのか

平和学習とは

- その土地が「**どのように戦争を残したいか**」がわかる
- たったひとつの真実として歴史を描き出すことは難しい

→ 歴史をひとつの真実で描ききれないからこそ、その土地に足を運ぶことに意味がある。
「戦争」を多面的に捉え、知ることは
「自分で考えること」以外、不可能である

ひめゆり資料館

- 広島や長崎と違い、「財団法人」が設立したため、戦争教育に力を入れている。
- 戦争体験者が年々少なくなっていく中、若い世代に戦争の実態を伝え、平和への思いを未来へ繋ぐ

生存者	資料
1. 戦死者の気持ち 2. 戦争の残酷さ 3. 平和について	1. 客観的な調査 2. 沖縄戦シナリオ 3. 平和教育への意識

令和の時代における戦後継承とは

【 戦後74年経った「いま」の戦後継承を考える必要がある 】

- ただ事実を並べて「核廃絶」や「反戦」を訴えることが、正しい(戦後継承)の方法なのだろうか
- 「経験者」と「継承者」にあるジレンマ(認識の違いや嫌悪感)を乗り越えるためには、ただ「事実」が語り継がればいいということではないということを理解する

令和を生きる私たちが、
遠い距離にある「戦争」や「戦後」について、能動的に学び、考えるためには？

→ 「なに」を記憶し、継承してゆくかが大事

→ そこから何をどう継承して語ってゆくのかは、まさに未来の形成に関わる価値的仕事

なぜ多摩なのか

戦時中は「空都多摩」であった

第5大隊が立川飛行場に
着任・常駐するようになる
↓
民間航空機会社が飛行場の周辺に
生産工場を設立
↓
織物業から航空機産業へと産業構造・
地形構造ともに変化(北多摩が中心)
↓
終戦まで「空都」として機能し、
発展を遂げるようになった

軍需産業跡地が様々な形で
今に残っている

ダークツーリズム
(負の遺産)

多摩におけるダークツーリズムの学び

- ✔多摩は軍需産業が主流な地域へと変貌を遂げていた
- ✔多摩はあまり知られていないが多くの空襲にあっていたこと
- ✔軍需産業の歴史が今もあらゆる形で残っていること
- ✔広島や沖縄に比べ、ダークツーリズムを行える資源が少ない

ダークツーリズムを
行うことができなくなった地域

AL 祭 プレゼミ X09 配布資料

【テーマ】

性について

【発表者】

川村紡希

小島凜

小山世椰

近藤理史

佐久間心

【発表内容】

1. 日本の性の現状(実態)

① 性病について

② 性犯罪について

③ 望まない妊娠

2. 日本は性教育の後進国(原因)

3. 性教育のメリット・デメリット

① 自己肯定感の UP

② 性犯罪の被害者

③ 低年齢の実体験

4. 性教育の充実(結論)

以上

地域観光研究 AL「SDGs 実践・商品開発・中大接続」in 飛騨高山

担当教員：金先生、野坂先生、高橋先生
学生：15 名(うち大学院生 3 名)

1．活動の目的

地域観光研究・商品開発 AL プログラムの目的は、都市部に居住する本学学生が飛騨高山に赴き，地域の方々とともに地域の課題解決に努め、学生目線での地域活性化に向けた提案を行うことを目的としている。具体的なプログラム内容は、(1)SDGs 実践企業での体験・視察、(2)昨年度のプログラムにて、本学学生のアイディアが採用されて商品化に至った「りんご味噌」を用いた新たなメニュー提案、(3)久々野町産のりんごを用いた新たな商品提案 (第二弾)、(4)久々野町の中学生とのディスカッションを通じて特産品のりんごとりんごジュースの販売促進等である。これに加えて、昨年度に引き続き、SNS を用いた久々野町の情報発信も実施した。

2－1．当日のプログラム

（日時）2019 年 10 月 21 日(日)~10 月 23 日(火)、(場所）岐阜県高山市久々野町内

	活動内容	宿泊先
1 日目	商品開発に関するプレゼンテーション 地域住民とのディスカッション	久々野町内での ホームステイ（民泊）
2 日目	SDGs 実践企業での体験・視察 地元中学生とのディスカッション 地元の方々との交流（情報発信の成果発表）	久々野町内での ホームステイ（民泊）
3 日目	ホームステイ（民泊）先でのお手伝い アクティブ・ラーニングのまとめ	—

- 今回のプログラムの特徴は、久々野町の方々のご自宅へのホームステイ（民泊）である。1 軒につき、学生 2 ～3 人が宿泊させていただき、ご家族との交流を深めることができた。
- 地元中学生とのディスカッションでは、地元中学生のりんごやりんごジュースといった地元の特産品への想いを受けて、学生としての販売促進のための意見を交換することができた。また交流の様子については、地元紙の中日新聞（10 月 24 日）に掲載され、地元のローカルテレビでも放送された。

SDG s 実践企業・長瀬土建様との記念撮影

中学生とのディスカッションの様子

２－２．事後学習　多摩祭での飛騨高山 AL の展示およびリンゴの販売

（日時）2019 年 11 月 9 日（土）・10 日（日）、（場所）多摩祭・飛騨高山 AL ブース

事後学習として多摩祭では、りんごと久々野町の中学生によってラベルの企画が行われたりんごジュースの販売を行うとともに、飛騨高山 AL の活動内容の展示を行うことで、来場者に向けて飛騨高山の魅力を伝えた。当日は、久々野町より 2 名の方にお越しいただいた。昨年度も好評であったりんごとりんごジュースの販売は、11 月 9 日（土）終了時点でほぼ完売であった。

３．学生による学びと気づき

今回のプログラムに参加した学生の半数は、これまでにも飛騨高山 AL プログラムに参加している学生であり、発展的な学びと気づきが多くみられた。特に、「りんご味噌」を用いた新たな商品の開発、久々野町産のりんごを使った商品提案（第二弾）では、一昨年度から行われてきている飛騨高山での活動の成果もあり、現地の方から受け入れられやすいアイディアを多く提案することができた。また、今回から新たにプログラムに組み込まれた中学生とのディスカッションでは、現地に住んでいるからこその特産品や名産品への想いを感じとることができ、都市郊外で学生生活を送る私たちには大変有意義な学びであった。また SDGs 実践企業への体験・視察は、本年 6 月に開催されたプログラムからの学びを踏まえ、学生から積極的に意見を提案する場面が見られた。これも、都市部における SDGs への取り組みとは異なる、「里山文化」を中心とした取り組みに対する関心の高さがうかがえた。国内でも地域色の強い飛騨高山の取り組みを学ぶことにより、地方の文化や特色、都市部との違いを学ぶ良い機会になったと思われる。

商品提案の様子

中学生考案デザインのりんごジュース

（文責：佐保尚寿）

人口減少リスクに対応する観光・交通・流通対策～東日本大震災事例より～

多摩大学経営情報学部中庭ゼミ（地域政策・観光まちづくり研究室）
山口・安部・磯部・大野・西田・根本・森

1.目的

東日本大震災から 8 年。三陸鉄道が全線開通し、高台移転の街も完成しつつあり、三陸地域は着実に復興しているかのように見える。しかし、三陸地域の人口は震災以前から減少し続けており、現状の復興が、以前と同様の条件不利地域に戻ることを意味しているようにも思われる。

公共交通の低利用や IT 化の遅れ等の課題が見られるが、それは復興だけではなく今後の人口減少社会における防災にも当てはまる問題である。

そこで、本研究では、東日本大震災の教訓を将来の人口減少社会の防災に活かす目的で、三陸の調査を行った。

2.方法

⑴インタビュー調査

①三陸鉄道㈱社長、②釜石市役所 商業観光課職員、

③㈱かまいし DMC 代表、④大槌町震災語り部ガイド

⑵現地調査

釜石市内、陸前高田市内、大船渡市内

⑶KJ 法とシナリオ構築

3.KJ 法によるカテゴリー化

現地調査で得られたデータは、KJ 法で整理した。復興の成功と失敗が不確実なため、三陸の復興を失敗だったと仮定して整理した結果、4 つの失敗の要素が浮かび上がってきた。

第一は『観光の商品開発ミスマッチ』で、観光客の減少やサービス輸出の減少という点があげられた。

第二は『事業と需要のミスマッチ』で、地域の事業者が少ないことや、地域経済の外部依存などがあげられた。

第三は『住宅と住民のミスマッチ』で、住宅の供給過剰や空き地の増加である。

第四は『住宅と交通のミスマッチ』で、街が高台移転したにも拘わらず、鉄道が海沿いのまま原形復旧されている点を挙げた。

これら 4 カテゴリーは、人口減少の問題と、事業者の減少の問題の 2 つに集約できるが、各カテゴリーを成立させている本質的要素（driving factor)を抽出することができる。人口減少問題では、「住宅は高台移転したが、交通は海沿いのまま」、「行政が現状通りの復興住宅計画を作った」といった要素、事業者減少問題では、「クリエイティブ企業が少ない」、「観光資源の活用がされていない」が抽出された。

4.シナリオ構築①脱文脈前

今後 10 年間の三陸のシナリオを三つ作成した。最善シナリオ・現状シナリオ・最悪シナリオで、それぞれのシナリオが、人口・観光・交通・災害・流通の面でどう変化していくのかという観点から整理した。

最善シナリオでは、交流人口が増加し、観光のアクティビティが充実する。交通は積極的に利用され、MaaS が普及する。災害が起きても、街やインフラの早期復旧が可能であり、流通面では 6 次産業が活発化するだろうと予測した。

現状シナリオでは、定住人口、交流人口共に減少し、観光資源や災害文化資源が活用されずに廃れてしまう。交通は存続しているものの、人口が減少するため、経営が厳しい。大規模な災害で、被災すると、復旧するまでに時間がかかる。物流も災害時には滞り、必要な物資が届かないこともある。

最悪シナリオでは、定住人口、交流人口ともに大きく減少し、過疎化が一気に進む。観光も廃れ、地域が魅力的でなくなっていく。交通は縮小し、インフラが悪化することで、人・モノ・金・情報が循環しなくなる。災害の記憶は風化され、防災意識が低下していくと考えた。

5.シナリオ構築②脱文脈後

三陸の現状調査を元にこれからのシナリオを整理したが、ここには見落とされている重大な前提がある。それは、「三陸だけが被災地で、ほかの地域は無事である」という前提である。その考えのもと、復興をとらえてきた。三陸だけではなく、他地域で災害が起こる（例えば東京直下型地震等）ことも視野に入れると、復興シナリオは大きく変わる。これまで意識に挙がらなかったデータ解釈の文脈を、「脱文脈化」して新たにシナリオを組み直した。

現状シナリオはそのままとして、当初最善シナリオとしていたものは、「バックアップシナリオ」に、最悪シナリオとしていたものは、「サスティナブルシナリオ」と捉えることができるのではないかと考えた。

「バックアップシナリオ」は、簡単に言えば、東京等の被災に備え、備蓄を強化し、災害に強い街を作ることである。人口が増加し、観光面では防災施設見学といったようなツアーができるようになり、インバウンド向けの BOSAI ツアーも可能になる。交通は、レジリエンスのあるものになり、どんな時でも利用されやすいものになる。災害への備えとして、各家庭で発電や貯水ができ

るようなシステムを整備し、外部に頼らない生活にしていく。物流では崖沿いに道路を作らないなど、絶たれにくい陸の物流網を整備し、また、店舗のネットワークを日ごろから作り、災害が起こっても、通常の生活ができるような街を作っていこうといったものである。

「サスティナブルシナリオ」は、人口の減少を逆手に取り、ある程度まで人を減らして、自然保全地域を設定し、炭素を吸収し、自然と共存して生活するものである。定住人口よりも関係人口を増やし、災害リスクの低い場所にだけ人を定住させ、それ以外の場所は「災害放置エリア」という場所にして、人は手を付けない。交通は、被災しても困らないような最低限の設備とし、各個人が移動手段を持つこととなる。第１次産業が経済の中心になる。

そして、現状シナリオであるが、これが一番三陸にとって損失が大きいのではないかと考察した。観光資源が活用されず、防災意識も低下していく。交通も脆弱であり、利用しづらい。復旧にも時間がかかり、災害時には使い物にならない状態が長く続く。地域経済は衰退し、防災の回復性も低下し、人口は減少し続けることが想像できる。

6.結論

シナリオ構築の結果、今の三陸地域の復興は他地域が安全であることを前提としている点では、失敗と言えるのかもしれない。むしろ、他地域のリスクを前提とした「バックアップエリア」または「サスティナブルエリア」であって、復興に新たな文脈・シナリオを導入することが、人口減少社会における新しい三陸を作っていくことではないだろうか。

表 1.脱文脈前のシナリオ

これから10年間の変化シナリオ

	人口	観光	交通	災害	流通
最善シナリオ	交流人口増加 定住人口かすかに減少	アクティビティの充実 地域資源の発掘	地域の人にも、観光客にも利用される交通 ハイテク都市 MaaS	インフラの早期復旧可能 災害のアーカイブが継承される	6次産業の活発化 地価のプラットフォーム活用増加
現状シナリオ	定住も、交流も人口が減少する	**観光資源や、被災文化資源の未活用** ・震災語り部の減少	存続しているが、経営の厳しい交通 地元利用者の減少	大規模災害で、街が壊され、復旧にも時間がかかる	物流の遅れが大きい 災害時に物流が滞る
最悪シナリオ	定住人口も、交流人口も大きく減少 高齢化・過疎化	事業者の減少 魅力的でなくなる観光地	交通網の縮小 利用者大幅減少	災害の記憶風化 防災意識の低下	インフラ悪化で、人・モノ・金が循環しない

表 2.脱文脈後のシナリオ

これから10年間の変化シナリオ(再構築)

	人口	観光	交通	災害	流通
BackUp -備蓄-	関係人口を通して定住人口を増加させる 若者が地域に残る 人を密集させ、経済を活発化	防災 BOSAI 文化ツアーの実施 ・日本国内だけでなく、海外にも利用ツアー	災害に強い、レジリエンスのある交通網 利用される公共交通	各家庭でのインフラ整備 ・スマートハウスをさらに目立たせる ・雨水、地下水利用	絶たれない物流 ・特に陸路 ハブをつくる
現状消滅	定住も、関係も人口が減少する	**観光資源や、被災文化資源の未活用** ・震災語り部の減少	脆弱な交通で復旧が困難 利用しづらい公共交通	未曾有の災害に対応できない	災害時に滞る 交通の有効活用ができていない
Sustinable -生産-	定住が減り、関係人口が増加する 人が分散し、災害リスクが減る	災害スタディツアー ダークツーリズム	被災しても困らない最低限の設備 ・鉄道・林道レベルのもの 公共交通はほとんどない	災害放置エリア ・人の生活に必要な部分のみの復興	第1次産業中心 ・自給自足の生活

スマホは生活の中で
人間関係をどう変えたか

X05中庭

◎北原　慎太郎
◎井上　京亮
・青木　柊吾
・荒金　匠
・阿部　由暉

1

テーマ選定の動機

・なぜこのテーマにしたか

現代社会ではスマホの普及によって、離れている人と常に繋がっていられることで、相互の距離を深められるメリットがある。
しかし、その距離の深さが「いじめ」をもたらすなど問題になることもある。
本グループでは「人間関係」と「スマホ」の関係についてインタビューを通して、見直していきたいと考察する。

2

調査方法

・学生や大学の教員など5人にインタビューを行う

（質問内容）
質問
スマホによって人との関係はどう変わったか。

・ネット記事で調査

分かったこと

・対話が減っている

・希薄化している

・ネット上での繋がりが増えた

3

インタビュー対象者

1・学生19歳
対話や手紙が一番相手に気持ちが伝わるけど、インターネットが普及した今では、メッセージでの会話は違和感がない。けれど気持ちがあまり伝わらない。

2・学生18歳
LINEによって人との距離が近くなった

3・学生19歳
薄っぺらくなりました。

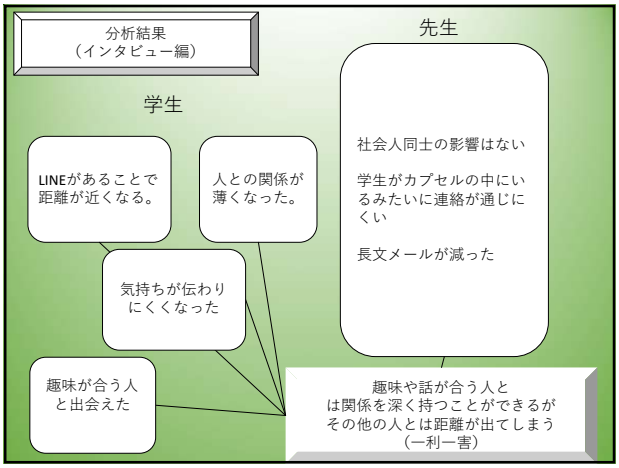
4

インタビュー対象者

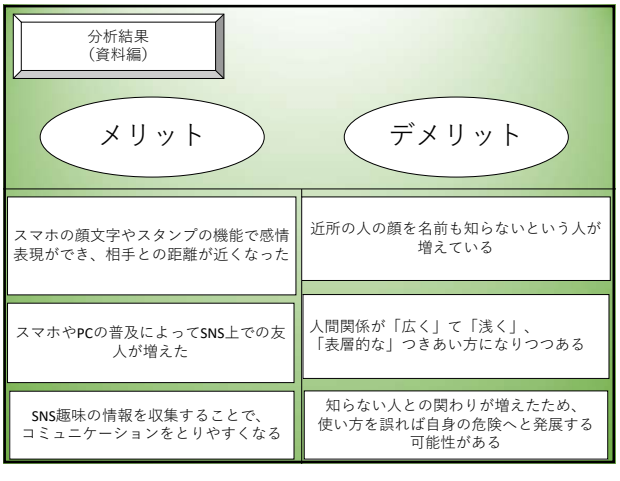
4・教員57歳
　コミュニケーションがめんどくさくなった。
　学生がだんだん電話をでなくなった。
　学生と連絡するにはLINEじゃないとできなくなった。
　長文(難しい)メールが減った。

　距離感について
社会人同士の影響はない
学生がカプセルの中にいるみたい。(連絡が通じにくい)
5・学生20歳
　趣味が合う人を見つけることができた
アナログだと遠くの人とのコミュニケーションは難しい

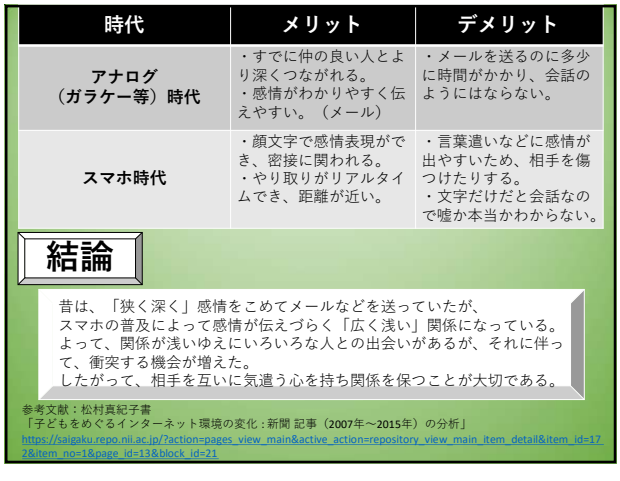
5



6



7



時代	メリット	デメリット
アナログ（ガラケー等）時代	・すでに仲の良い人とより深くつながれる。 ・感情がわかりやすく伝えやすい。（メール）	・メールを送るのに多少に時間がかかり、会話のようにはならない。
スマホ時代	・顔文字で感情表現ができ、密接に関われる。 ・やり取りがリアルタイムでき、距離が近い。	・言葉遣いなどに感情が出やすいため、相手を傷つけたりする。 ・文字だけだと会話なので嘘か本当かわからない。

結論

昔は、「狭く深く」感情をこめてメールなどを送っていたが、
スマホの普及によって感情が伝えづらく「広く浅い」関係になっている。
よって、関係が浅いゆえにいろいろな人との出会いがあるが、それに伴って、衝突する機会が増えた。
したがって、相手を互いに気遣う心を持ち関係を保つことが大切である。

参考文献：松村真紀子著
「子どもをめぐるインターネット環境の変化：新聞 記事（2007年～2015年）の分析」
https://saigaku.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=172&item_no=1&page_id=13&block_id=21

8

2019 年度ＡＬ発表祭

昭島市産業振興計画「工業の見える化」プロジェクト

「志企業　会社案内プロジェクト　昭島版」

志賀ゼミ、松本ゼミ、佐藤ゼミ

１．プロジェクト概要

産業振興計画の「市民にとって身近な工業となることで昭島の“人財”をつなげる」の方向性に基づき、昭島の工業力の見える化を多摩大学の教員・学生とともに実践する。

多摩大学が取り組んできた「志企業　会社案内プロジェクト」の昭島版を実施し、学生が市内企業を取材し、学生目線・市民目線のオリジナルの会社案内を作成することで、地域内外にその魅力を発信する。

２．志企業　会社案内プロジェクトとは

多摩大学では、株式会社弘久社（総合印刷業）とともに、多摩信用金庫の協力のもと、地域の企業・団体と学生との相互交流を図り、人材育成と地域活性化に資することを目的として、多摩地域の「元気な企業」を対象に、学生の手で会社案内を作成する「志企業の会社案内プロジェクト」を 2013 年度より実施している。プロジェクトでは、学生が企業に訪問し、経営者や若手社員等にインタビューを実施し､主に学生向けの会社案内を作成してきた｡学生がパワーポイント等で作成した会社案内を、電子カタログ化して、アプリ（ActiBook）を使って手軽に閲覧できるものにしている。これまで、ゼミの取り組みとして、5 年間で 10 のホームゼミが 60 社以上の会社案内を作成した。

会社案内の例：本のような使い勝手で閲覧できる。

完成した会社案内は、弘久社が運営する下記の「TAMA エクセレントカンパニー」web サイトで閲覧できる。

TAMA エクセレントカンパニー（http://tama-exc.com/）

また、この活動は年々参加大学・地域が増えており、富士ゼロックス株式会社が全国展開を支援をしている。

３．「昭島版」の特徴

もともと「志企業会社案内プロジェクト」は、就職時の学生と企業のアンマッチを防ぐため、大学

時代から学生と企業が会社案内を共同で作成することでお互いを理解することを意図しており、その内容も就職に関わるものが中心で、若手社員の入社のきっかけや働きぶりをとりあげることが多かった。また、学生のキャリア教育の側面もあり、取材のアポイントから作成まで、学生自身が進めるということを重要視しており、教員の関与は最低限に抑えていた。

今回、本プロジェクトの目的は、産業活性化のための「工業の見える化」で、市民に対してもっと昭島市の事業所を知ってもらい、応援してもらえるような関係づくりにつなげるというものなので、これまでとは内容や方法を変更して実施する。具体的には以下のとおりである。

- 対象企業、取材するゼミによって、会社案内の内容を変えて、どうしたら市民が興味を持ち、その会社を理解してもらえるかという視点で作成する。
- 既存の会社案内のような総合的な内容ではなく、ある特定の読み手（ターゲット）を設定し、独自の視点（ある商品の紹介に特化、社長や特定の社員の紹介を中心に作成、社会貢献活動を中心に取り上げる等）で作成する。
- １つの企業を複数のゼミで取材し、それぞれの案内を作成する場合もある。
- これまでよりも、担当教員がそのプロセスや内容等についてコミットし指導する。
- 会社案内を作成して終わりではなく、そのツールを使って、いかに「見える化」を進めるかという視点でその後の活動も視野に入れる。
- 作成後も、学生との継続的な関係づくりを意識していく。

４．活動計画

■運営主体：昭島市産業活性化のための協創プロジェクト事務局
（構成　昭島市・多摩大学・多摩信用金庫・昭島市商工会・昭島市観光まちづくり協会）

■対象企業と参加ゼミ
日本電子株式会社　　志賀ゼミ
株式会社柴田製作所　松本ゼミＡ班
株式会社岡本製作所　松本ゼミＢ班
有限会社いげたや　佐藤ゼミ

■スケジュール：
・秋学期からスタート
・現在、企業や業界についての研究を行い、会社案内のコンセプトを検討中。
１２月１４日、アクティブラーニング祭にて中間発表
１２月中に第１回の取材実施、２月までに完成、４月に市民向けに発表会を行う予定。

以上

自転車ロードレース競技と多摩地域の活性化

報告者氏名：江敏杰
李煒

目次

１．問題意識・研究目的
２．ロードレース（自転車競技）由来
３．ロードレースの魅力
４．オリンピック後の多摩地域の活性化に向けて
５．まとめ

問題意識・研究目的

東京オリンピックの自転車ロードレース競技のコースの一つに多摩地域が選ばれた。自転車ロードレースをきっかけとして多摩地域の活性化を図ることは可能か。多摩地域の現状と課題を踏まえての方策を検討する。

内容

自転車ロードレース競技と多摩地域の活性化の相関については、まず多摩地域の現状と課題を分析したうえで、五輪開催期間中だけでなく、オリンピック後の多摩地域の活性化に向けて、持続可能な対策としてインバウンの観点から方策を検討した。

結論

多摩地域では、少子高齢化など様々な問題を抱えている。2020 年東京オリンピックの自転車ロードレース競技のコースの一つに選ばれた多摩地域には、今後国内外から多くの観戦者や観光客が訪れることが予想される。改めて多摩地域の資源、魅力、特色を再確認し PR すると共に地域全体の活性化を図るチャンスであろう。本研究では、国内外のロードレース愛好家の現状や外国人観光客のニーズを踏まえて、ロードレースをきっかけとして、多摩地域の観光資源を地域一体となって活用することによって、地域活性化を図れる可能性は高いとの結論に至った。

多摩祭　奥多摩 治助芋商品開発プロジェクト

松本祐一ゼミ 5 期生

1.企画名：多摩祭における治助芋のオリジナル商品開発・販売（店名「松本屋」）

2.実施概要
日時：2019 年 11 月 9 日（土）、10 日（日）
場所：多摩祭会場芝生広場（多摩大学　多摩キャンパス）

3. 主催　多摩大学経営情報学部　松本ゼミ

4. 内容

松本ゼミでは毎年、奥多摩で育てた「治助芋」を使用した商品を販売している。奥多摩地域の魅力、治助芋というブランドを売り出すべく、多摩地域をはじめとした多くの方々に、実際に治助芋を使用した料理を召し上がっていただき治助芋はどういうものなのか感じてほしいと企画している。

今回の学園祭では、じゃがいものガレットという料理を提供する。ガレットはポテトフライやジャーマンポテトのような料理と比べるとマイナーな存在だが、ある程度調理が簡単で目新しさがあるため、「治助芋」を多くの人に知ってもらい、奥多摩への関心を高めていくために最適と考えた。また、同時に観光情報なども提供し効果を高める。

5. 提供する商品　ガレット：200 円

材料　・治助芋・ブロックベーコン・チーズ・コンソメ・サラダ油

調理方法　①ジャガイモの皮をむき千切りにする
②ブロックベーコンを細かく刻む
③千切りにしたジャガイモにベーコン、コンソメ、チーズを入れ混ぜる
④サラダ油をしいた鉄板に③を平たく広げて焼く
⑤両面しっかり焼ければ完成
⑥味はしっかりついているが足りないようならケチャップを…

当日は急遽ジャガイモの千切りからふかした芋をつぶして使用

6. 各班の実施内容

〈調理班〉

・レシピ作成:当日全員に調理をしてもらうので全員にわかるようにレシピをまとめ、
さらに一人分の量はどれぐらいなのか詳しい分量を量る

・食材、食器手配:食材の仕入れ先、購入量、いつ仕入れるか保存方法などを
考えてもらい、手配を行う

・調理器具の手配:去年の道具を確認しつつ今年つかう用の道具の手配をする

・当日シフト作成:当日円滑に進めるために役を決めスケジュールを考える

・特別企画計画:当日購入しに来てもらえるような販促を考え、さらに購入時に
みんなが楽しめるようなイベントを企画する

〈店舗班〉

・店舗掲示物の作成

黒板シートを使った治助芋の紹介

黒板とチョークを使ってカフェの入り口のようなレイアウトを目指し、作成した。

松本ゼミの活動や奥多摩を知ってもらうボードの作成

奥多摩地区の地域活性化の活動の一環として、奥多摩についての観光マップ、
松本ゼミの奥多摩での活動を紹介するボードを作成した

・当日追加掲示物の作成

1 日目を通してお客様から出た要望を基に追加で掲示物を作成

ガレットの紹介、治助芋の紹介、治助芋の収穫風景、ガレットのレシピ公開等

〈広報班〉

・学内でのポスターの作成・掲示

学内の掲示板に 2 か所にポスターを掲示

・ウェブサイトの設立

松本ゼミの公式ウェブサイトを設立・運用

・当日の宣伝活動

宣伝ボードを使っての構内宣伝活動

・SNS(松本ゼミの Twitter など）での宣伝

7,最終収支

売上 41350 円　費用合計 29759 円　利益 11591 円

総販売数 230 個

1 日目　91 食（16250 円）

2 日目　129 食（25100 円）

米中貿易摩擦から考える Huawei&Apple の今後

報告者：趙丹、羅語嫣、曹邁月、何雪飛

問題意識・研究目的

米中貿易摩擦が世界経済に悪影響をもたらしている。

米中ハイテク分野の覇権争うは、今後米中 IT2 強の Huawei と Apple の戦略にどのような影響を及ぼすのか、そして両国と経済的結び付きが深い日本企業にどのような影響があるのか。こうした問題意識を踏まえ、米中 IT 大手 2 社の現状と対応策を分析しながら今後の展開を考察する。

内容

アメリカは中国との交渉の進展に応じて、追加関税の適用範囲を 4 段階に分けて拡大させる方法で中国に譲歩を迫っている。しかし、交渉は決裂し続け、2019 年には、米中両国が年内にほぼ全ての輸入品に追加関税を課すことを表明するに至った。

米中両国は、世界第一位と第二位の経済大国でありながら、先が見えない貿易摩擦の泥沼にはまる中、Huawei と Apple 2 社の戦略に大きな悪影響をもたらしている。両社は、それぞれ状況に応じた対応策を余儀なくされているが、予断を許されない状況が続いているのが現状である。

結論

米中貿易摩擦の拡大は Huawei と Apple に代表される両国の IT 企業だけでなく、両社に半導体やソフトウェア及び部品部材を供給する日本などアジアの企業の業績を悪化させている。

今後も関税の引上げ合戦が続けられた場合、世界経済へのマイナスの影響が強まり、企業業績の悪化はさることながら株価の下落など金融市場の混乱にまで至れば世界経済の先行きの不安材料として顕在化していくことが予想される。このため、米中両国は、世界第一位と第二位の経済大国として、世界経済への悪影響を回避するための建設的な対話による問題解決が望ましい。

欧州からのインバウンド客対策

報告者名　桶屋亜祐

目次

１．研究目的
２．日本の特徴・現状分析
３．海外からのインバウンドについて
４．まとめ

問題意識・研究目的

日本は今後、欧州からのインバウンドに力を入れていくべきである。欧米からの観光客は長期滞在型が多く、2020 年の東京オリンピックに際にも多くの観光客が訪れるであろう。しかし、課題はオリンピック後においても持続的に観光産業を拡大して行かねばならい。そこで、考えられる有効な対策とは何か、とりわけ欧州からのインバウンド客を如何に増やすかである。本研究では、上記の問題意識を踏まえての対応策を検討するものである。

内容

日本へのインバウンドは主に中国やアジアからが多く、全体の８４%を占めている。もちろん米国からのインバウンドも増えているが、むしろ日本からのアウトバウンドのほうが多い。日本にとっては、欧州が最も未開拓なのである。日本は四季折々でいくつもの魅力がある。さらに、歴史も多く文化も豊富だ。では、欧米人は日本に何を求めて訪れているのか。欧米人のインバウンドが増えることによって日本が受ける影響とは何か。具体的な統計データや各種情報から分析し考察した。

結論

欧米人は訪日予定を早めに決める傾向があり予算も多く、長期滞在型と体験型に重きを置いた観光客が多い。娯楽や文化の体験型ツーリストが多い欧米人に対し、アジア人は買い物目的が多いというのが大きな特徴である。

今後、日本は欧米からの観光客のニーズをきめ細かく把握すると同時に、季節に合わせたイベント・食文化など日本特有の文化をアピールし、民泊などの体験型の観光客を受け入れる体制を整備することが重要であろう。

若者のスポーツ離れ
～J リーグを中心に～

報告者：　我妻一樹、松澤虎之介、佐藤匠

目次

１問題意識
２原因
３実例
４まとめ
５参考文献

問題意識・研究目的

若者のスポーツ離れが進んでいる。その原因は何か。
インターネットの普及や若者価値観がスポーツ離れにどのような影響を与えているのか。
上記の課題意識を踏まえＪリーグが若者を中心とした顧客獲得のためにどうすればよいのか、若者視点からの提案を行う。

内容

　若者のＪリーグ来場者数は約２０％。
　最近の若者は、休みの日に外出しない人が多く、外出したとしても旅行に出かけるにしても思い出に残るものが良いという考えを持っている。また、インターネットの普及に伴い、ネットを利用して過ごす人が多いのも現状である。
インターネットの普及によるメリット、デメリットは何か。
メリットは、ネットで知り合った観戦仲間ができるから、結果 J リーグの来場者全体の２３．１％を占める。一夫、デメリットは、インターネットの普及によりスポーツに興味を持たない人が増えた。同時に、興味が持っている若者はネット観戦ができることにより試合会場に行く必要性がない。
　こうした若者の実態分析とＪリーグのクラブが若者の顧客獲得のために実施している各種対策及び具体的事例分析を踏まえて、若者のスポーツ離れの現状を考察した。

結論

インターネットの普及や若者のスポーツに対する考え方を変えて従来のように試合会場に足を運んで観戦させることは難しい。過去五年間、Ｊリーグの来場者数は微増しているものの、若者の来場者は現状維持のままである。このため、若者の実態を踏まえたスポーツ離れを食い止め、顧客獲得のためにはインターネット利用者や若者向けのイベント実施などが必要不可欠と考えられる。

コンビニとドラッグストアの比較

報告者：　井上尚紀

目次

１.問題意識・研究目的
２.コンビニとドラッグストアの比較
３.事例分析から見えてくる課題
４.今後の展望
５．まとめ

問題意識・研究目的

近年、日本国内の人口減少が進む中で郊外から都心部への人口流入が急激に進んでおり、郊外型のスーパーは苦戦を強いられている。一方、コンビニはそのスーパーから顧客を奪うことで業績を拡大してきているが、ドラッグストアというライバルが現れた。

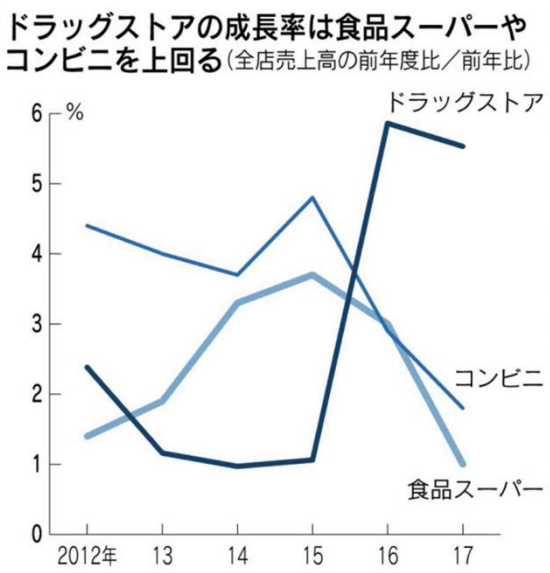
本研究では、コンビニとドラッグストアという 2 つの流通業態の比較を通じて、今後の日本の消費動向を展望することを目的としている。

内容

近年、ドラッグストア各社は食品の強化を進めており、コンビニやスーパーと完全に競合する業態となっている。

都市部だけでなく、地方においても積極的な出店攻勢をかけており、一部ではコンビニよりも地域と密着している。

ドラックストアの市場規模は約６兆円となっており、それぞれ１０兆円以上の規模があるコンビニやスーパーと比較すると小さいものの、市場の伸びはスーパーやコンビニを圧倒している。ドラッグストアは、ビジネスモデルは決まっていないが、スーパーとコンビニの中間に位置する状態になっており、どのドラッグストアもスーパーを強く意識した戦略を採用していることなど、比較を通じて明らかになった。



日本のショッピングモールの現状と課題から考える今後の SM のあり方

報告者：　久津間晴夫　黒田颯　山下聖矢

目次

１.問題意識・研究目的
２.ショッピングモールとは
３.日本のショッピングモールの現状と特徴
４.ショッピングモールの課題
５.ショッピングモールの今後のあり方
６.まとめ

問題意識・研究目的

近年、日本の消費者の間で大型ショッピングモールが良く利用されている。その背景としては敷居の高い百貨店・デパートに比べ、提供される選択の多様性、利便性、娯楽性などによるものが大きいと言われている。一方、米国の大型ショッピングモールの業績は低迷し相次いで閉鎖、もしくは倒産の危機に瀕している。こうした流れは、やがて日本にも波及してくる可能性はあるのではないか。実際、大手百貨店やデパートはオンラインショッピングの影響を受けて閉店もしくは店舗縮小に着手しているところがあるのも事実である。
本研究は、上記の問題意識を踏まえ、日本のショッピングモールの現状と課題を考察しながら今後におけるショッピングモールのあり方を検討するものである。

内容

まず、ショッピングモールとしての定義や歴史について触れた。次に、日本のショッピングモールの現状や特徴を具体的事例紹介を通じて分析し、同時にショッピングモールが抱えている課題を抽出して考察した。その中で実際にショッピングモールを利用する消費者が減少しつつあり、その原因はオンラインショッピングを利用する消費者が増加したことによるものが大きいと考えられる。様々な問題がある中で、今後どのようにショッピングモールとして展開していくべきか、国内の先進事例と消費者ニーズの分析を踏まえ、今後におけるショッピングモールのあり方を検討した。

結論

近年、若者の実店舗離れやネットショッピング利用者の急増により実店舗で買い物をする消費者が減少している。今後、インターネットのさらなる普及と利便性の高まりが予想されるため、ショッピングモールとしては時代の変化や消費者ニーズに絶えず寄り添った対応策を講じつつ、消費者にとって単なる買い物する場所だけではなく、多様性や地域社会と融合し合い、人と人がつながるコミュニティの「場」の提供が求められている。

午後の部

レジュメ集

いまこいバル
システム開発

帝塚山大学　谷川紅葉

・大学生になったということは・・・

・いまこいバルとは…

生駒市で開催！→**いまこい　バル**（Bar）→酒場・居酒屋

・いまこいバルとは…

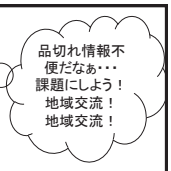
バルチケット
5枚セット3500円

バルメニューだと
700円
オトク！！

・いまこいバルとは…

品切れの場合・・・

・日置ゼミ



情報ゼミ
昨今流行っているPC事情や
プログラミング、サーバ構築 etc

・システム

読み込む

お客側の
画面

・PHPプログラミング

プログラミング言語

C言語
Java
Python
PHP
など

PHP

Webサービス
開発に特化した
言語！

・PHPプログラミング

お客側画面　事務局画面　お客側画面

・応用すると・・・

遊園地のアトラクション
混雑情報にも対応可能！

（引用元：公式サイト）

（引用元：USJ与太話）

・まとめ

イベントのお手伝いを
プログラミングを通して、
行うことが出来る。

小木ゼミのプロフィール

「マーケティング・広告・プロモーション」
～企業コラボと個人研究で圧倒的な就職力の獲得～

個人研究（１：30での批判討論）

批判的精神＋論理的思考＋ディスカッション力

「仕事と育児の両立を目指す女性が働き続けやすい環境の構築」
「都内23区の小中学生への自転車事故防止に向けた一考察」
「観光圏と旅館業に携わる組織連携による観光品質認証制度の普及」
「商店街活性化に関する一考察」
「訪日外国人の消費拡大によるオリンピック後不況の緩和」
「路網整備による林業衰退の抑制」
「都内待機児童の減少」
「伝統的工芸品の衰退抑制」
「子どもの貧困と貧困の連鎖解消」
「日本酒の需要喚起」
「食品ロスの有効活用」
他、全44編

ゼミ生数　33名
男　10名
女　23名

小木ゼミの活動概要

①個人研究
②就職支援活動
③企業コラボ
④各種イベント活動

圧倒的な就職力

【これまでの主な就職先】
日本銀行(2人)、みずほ銀行(7人)、楽天、キーエンス、三菱食品、リクルート、アスクル、スズケン、マルハニチロ、セコム、日経広告社、ANA、井田コーポレーション(CANMAKE)、久光製薬、良品計画、西川産業、大塚商会、各地銀(八千代、常陽、足利、群馬、千葉、八十二、東邦、百十四等)、各市役所、学校教諭、自衛官幹部、東経大職員、大学院⇒大学教員(２人)　他多数

企業とのコラボ活動（主にサブゼミ）

地域活性化：Nipponia Nipponとのコラボ
●「国分寺物語」の企画・運営・制作

国際貢献：Table For Twoとのコラボ
●東経大生協でのTFT健康ランチ企画・販売

新商品開発PJ：イーグル製菓とのコラボ
●こんなお菓子あったらいいなプロジェクト

企業コラボ①：国分寺物語

★　小木ゼミ×Nipponia Nippon　★

・国分寺や東経大・小木ゼミの魅力を広めていく。
・国分寺ゆかりの方々に取材をすることで、
目に見える魅力に以外に様々な「物語」を掘り出し、
地域活性化を狙う。

KOKUBUNJI MONOGATARI
国分寺物語
ぶんぶん ぶら～り国分寺散歩
東京都国分寺市

Webサイト「国分寺物語」で情報発信！

・国分寺の魅力を写真とともに掲載
・３日に1回のFacebook・インスタ投稿

国分寺物語　で検索！

★　小木ゼミ×Nipponia Nippon　★

こくベジ普及活動

・国分寺市の農業と畜産物の素晴らしさをPR
・国分寺の地場野菜を広めることで
地域活性化を目指す。

小木ゼミの取組み

・学祭でのこくベジの販売
・地域の交流イベントの参加
・国分寺物語シンポジウム×こらぼdeサロン（国分寺市役所）の共同開催
・こくぶんじ写真コンクールの審査
など

こくベジ　で検索！

http://kokubunjimonogatari.com/

★ 小木ゼミ×Nipponia Nippon ★

国分寺駅のオープニングイベント
【こくスマ！】にて

・小木ゼミの国分寺物語による
町づくり活動報告
・こくベジの即売会

Nipponia Nippon ×小木ゼミ
12月4日（水） 17:00～
「国分寺物語シンポジウム×こらぼdeサロン（国分寺市）」

場所
国分寺駅
Cocobunjiプラザ5階
リオンホール

企業コラボ②：TFTランチ企画・販売

★小木ゼミ×Table For Two×生協★

・発展途上国の飢餓と先進国の肥満の解消を同時に行う運動
・生協で購入してもらうと一食につき20円が
Table For Two を通じ発展途上国に寄付

販売実績

・ふわとろオムライス
・俺の鶏丼
・ぶっタル丼
・バジトマティーナwithB
・ガーリィ丼
・丼・おろし
・肉盛！～失礼いたしました。ナムルと温玉も添えてしまいました。～
などなど！

★小木ゼミ×Table For Two×生協★

後期には・・・

「選べる！2種のトッピング　がっつり生姜焼き丼」

（11月25～29日）　トッピング：温玉 / チーズ

「とろたまネギトロ丼」（12月2～6日）を販売予定！！

「選べる！2種のトッピング
がっつり生姜焼き丼」

「とろたまネギトロ丼」

★小木ゼミ×Table For Two×生協★

小木ゼミによるTFT活動の成果

年	出食数	寄付金額
２０１６年	３１８７食	６３,７４０円
２０１７年	２０９９食	４１,９８０円
２０１８年	３１０７食	６４,０４０円
２０１９年（上期）	1,８５９食	３７,１８０円

３年間で合計　１０,２５２食 販売
２０６,９４０円を寄付！

昨年度から寄付額の公表も開始！

TABLE FOR TWO

企業コラボ③：お菓子新商品開発

★ 小木ゼミ×イーグル製菓・鈴木栄光堂 ★

「こんなお菓子あったらいいな」プロジェクト。
・ゼミ内の各々の班で、味やパッケージ、ターゲットなど
様々なことを考え「売れるお菓子」をイーグル製菓に提案

商品化した
お菓子も！！

★ 小木ゼミ×イーグル製菓・鈴木栄光堂 ★

イーグル製菓の社長へ直接プレゼン

グループごとに考え抜いた渾身の新商品を提案！

▽昨年のお菓子プレゼンの様子

1月15日（水）2限
東京経済大学F304
（オープンゼミ）
お菓子新商品開発
ゼミ内選考会

2月イーグル製菓社長
への最終プレゼン

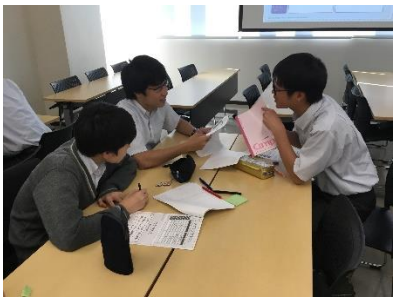
Furniture inside your head

個人の趣味×隠れた技術の融合

多摩大学目黒高等学校　起業体験 SG
1 年　権代 稜央/金井 恭輔/青山 祐己

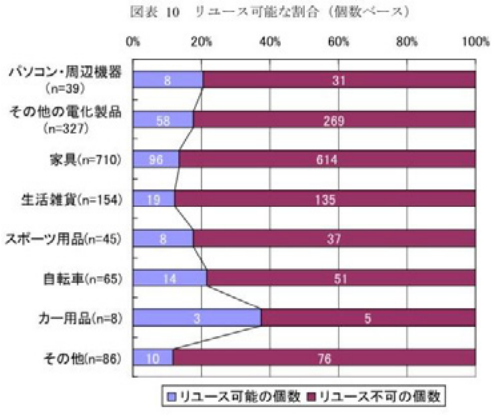
1　プロジェクト概要

私たちの活動は、自分たちで起業することを学び、それを通して起業の素晴らしさ、またあらゆる企業、講演を聞き起業するための大事なことを学びました。私たちが普段何気なく使っている、当たり前だと思っていることに焦点を当てそこから何ができるか、どのようなニーズがあるのか考え、後々は「高校生ビジネスグランプリ」に向けグループワークを行ない、優勝に向けて共に商品、事業を考えてくというものです。



2　プランのアプローチ

まず自分たちはどんな起業するかと考えたとき「自分たちがやっていて楽しい、この先もやっていけるだろうな」という観点から考え始めました。そしたらこのグループ共通で興味を持っていたことが「インテリア」という枠組みでした。そしてインテリアという枠組みの中で今何が足りないのだろうか、世の中のどのようなことを解決するべきか、ということを考えこのプランに行きつきました。ここで私たちがこのプランを作成するにあたってどのように発想したのか、以下の表を見て欲しい。



@環境省

このように他の廃棄品に比べ家具は圧倒的にリユースすることはできない。

3　事業内容

お客様からいらなくなった家具をこちらが無料で引取りクリエイターのもとでお客様のご要望に沿ったようなアレンジを加えお返しする。お客様に予算とどのような感じでアレンジするかを聞く。家具をアレンジしてくれるクリエイターを募集、買収する。

4　事業詳細

①　ターゲット

・買ってみて意外とイメージと違った、もっと自分の好みに近づけたい人
・老朽化に悩む人
・団舎利ができなく家具の処分に困っている人

広告方法

・YouTube や twitter などの SNS
・本部周辺、最寄り駅でのチラシなどの紙媒体
・メルマガ
・売り上げが安定すれば家具量販店とのコラボを予定

②　経営資源

・クリエイター（特に育児休暇等で職場にいけない人）
・赤羽周辺にオフィス

③　競合事業とその差

・ココナラ→予算、要望に応えることができる。

④　実現に向け考えられる問題、ハードル

・どうしようもないものはどうするのか→
→きっぱり断る（クリエイターの判断による）
・場所によっては送料が高くならないか→
→県、市ごとにクリエイターを置き、送料削減

⑤　セールスポイント

我々は働き方改革に注目した。

クリエイターと依頼者間での話し合いに重きを置き、常に対等な立場での職務を実行する。また、企業から解雇された技術者に仕事の場を提供することも目指す。

長時間労働の是正、柔軟な働き方ができる環境づくり、再就職支援、ダイバーシティの推進という、厚生労働省が掲げる働き方改革の取組みに準じた働き方が可能である。

多摩大学　ＡＬ発表祭

Ａ知探Ｑ「被災地支援について考えよう」

多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校

A知探Q「被災地支援について考えよう」プログラム

参加	高1　2名（女子2名）　　高2　13名（女子7名　男子6名）				
プログラム	一部高大接続		多摩大学村山ゼミ「日本大好きプロジェクト」 東北支援チームとの連携		
	ポートフォリオ作成		Classi活用		
月日	曜		時間	場所	内容
6月11日	火				日程確認
6月15日	土				保護者お知らせ配付
6月18日	火		16:20～17:50	多摩大学	事前学習①村山ゼミ学生
6月20日	木		放課後	多摩大学	紙すき
6月21日	金		放課後	多摩大学	紙すき
7月7日	日		12:00～21:00	増上寺	キャンドルナイトスタッフ
7月18日	木	A知探Qの夏	10:20～11:50	被災地支援とは何だろう	
7月19日	金		10:20～11:50	多摩大学・村山ゼミ・石巻での支援	
7月20日	土		10:20～11:50	本校卒業生・篠崎さん・若林区の農業支援	
7月22日	月		10:20～11:50	岩倉高校・菅澤先生・宮古の漁業支援	
～		メッセージを書いていただく和紙作り			
8月26日	月	東北スタディツアー	陸前高田→気仙沼		
8月27日	火				
8月29日	木	登校日	まとめ		
9月14日	土	文化祭	発表・支援活動		
9月15日	日				
12月14日	土	多摩大学AL祭			
3月9日から		TOUHOKU2020	東京ミッドタウン		キャンドルガーデンスタッフ

１．本日のプレゼンテーション　中村春穂・稲見知夏・中沢美結・橋本かれん

Ａ知探Ｑの講座は、プログラムに示したとおり、夏講座の４日間のずっと前から、活動を始めました。多摩大学村山貞幸先生のゼミに実際に参加させていただき、その後増上寺のキャンドルイベントのお手伝いが、「支援を考える」まさに第一歩になりました。夏講座、和紙作り、東北スタディツアーの内容や、それらを通じて考えたことなどを、発表します。１５分で語り尽くせるものではありませんが、何とかまとめました。私たちの結論は、支援には様々な形があるということ、そして、伝え、継続することの大切さ、です。

２，本日のポスターセッション　『被災地の方から教えられたこと』

陸前高田　語り部ツアーガイド　　紺野さん・・・安瀬晴佳・三嶋麻由佳
陸前高田　さくらＬＩＮＥ　　岡本さん・・・・・千藤藍子・齊籐姫歌
陸前高田　わいわい　　太田さん・・・・・・・・後藤優汰・渡邉良祐
気仙沼　　気仙沼プラザホテル　　堺支配人・・・中西優介・宮内麗奈
気仙沼　　ＮＰＯ法人そこあげ　　成宮さん・・・藤原虎郎・原田剛瑠・牛尾風雅

〈以下は事後レポート集から抜粋・・・・ポスターセッション会場でお伝えします〉
☆紺野さんが強調していたのは、気象庁が津波の高さを間違えて伝えたことだ。東日本大震災当時気象庁は津波の高さを 3m と伝えていたためまだ大丈夫だと思った　人もたくさんいたが実際は 15m の津波がきたということだ。紺野さんは、きっと思い出したくない出来事もたくさんあるはずなのに写真を見せながら私たちに伝えてくれた。☆津波の到達点に桜を植樹し、もし今度津波が来たときはこの桜よりも上に逃げましょうというサインを作っている。岡本さんは好き勝手して生活している自分が生き残り、地元のために尽力した同世代が　亡くなったことに罪悪感を持ったため U ターンしたという。☆太田さんは、自分のお店にお客さんが来てくれるのが一番うれしいと言っていた。風化させないためにいろいろな県に行って地震や津波の恐さを知らない人たちにお話をしたいと話していた。「自分が楽しいと思ったことをやる。そうすれば、お客さんは楽しんでくれて喜んでくれる」という言葉が心に突き刺さった。☆支配人は自分自身も被災して奥さんとも１週間会えなかったそうだ。瓦礫という言葉ではなく被災物と呼びたいという話は特に心に残った。ニュースの中で瓦礫と呼ばれるばかりだったので被災者の方は、私たちが知らないうちに心がとても傷つけられていたのかもしれない。☆活動の一つに高校生を対象にしたものがある。小さなリーダーが沢山立ち上がらないと街を変えるのは難しいので、チャレンジする人の支援などをしている。市民が主役の街づくりなど、「被災地を支援する」というよりも良い街づくりをするということをしていてとても気仙沼の印象も変わった。自分が本来なら勤めていた仕事も辞め成功するかどうかは今でも分からないと仰っていたので、相当な覚悟を持ってこの気仙沼に来たということを知って、本当にシンプルに感動した。

モンゴル帝国と朝鮮半島

2019 年度　インターゼミ　アジアダイナミズム班

挑戦や失敗を絶えず繰り返しながら、人や組織は長い時間をかけて時代の変化に柔軟に対応し進化を遂げてきた。世界の歴史を振り返れば、ここ数百年で特に人類は急速に発展し、世界人口も増加の一方をたどっている。一方で、人や組織は自らの安定や資源の確保、自己顕示欲、そして怨恨怨念の対象として常に争いを繰り返し、地方レベルから世界レベルにいたる各々のスケールで栄枯盛衰を繰り返してきた。グローバル化した現代世界でもなお紛争が続く地域もあるが、力と力の衝突だけで問題解決に至るわけではない。人類の生活の維持や発展のためには平和が必要であり、武力ではなく対話を通じてお互いの立場を理解し合い問題解決を図ることが最も有効であると考える。

じっさい、現代の国際情勢はいよいよ複雑である。アメリカのトランプ大統領は自国第一主義を唱えナショナリズムを助長するとともに貿易赤字の解消や移民に対する差別的な政策をとり、存在感を増す中国との間いで熾烈な貿易戦争を繰り広げ、互いに関税を付加し続けている。韓国は日本とのあいだで徴用工や慰安婦に関する議論を繰り広げ、北朝鮮は体制維持を確保し経済制裁を解消するため飛翔体と核施設を材料にアメリカと対等な交渉を行うべくしたたかな行動に出ている。そして国民レベルでは、双方が互いを理不尽で会話の成立しない相手国と考え、ネットなどで国民感情の膨張を助長している。

2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」では、国際社会全体が人間活動に起因する諸問題を喫緊の課題として認識し、協働して解決に向けて取り組んで行く決意を表明している。その決意表明の基本理念は「だれ一人取り残さない(No one left behind)」という言葉に集約されるが、その背景にはグローバル化による成長の恩恵から取り残された地域の極端な貧困や地域間経済格差を解決せねば持続可能な成長は実現不可能という認識がある。とはいえ、価値観の異なる対象を理解するためには、自国の尺度のみでは全く不十分であり、対象の歴史や価値観そして感情さらにはそこから発生する行動理念について、対象の立場からの確認が必要である。世界が平和でなければ持続可能な未来を作ることなどできるはずもない。

我々日本人は、戦後の歴史教育の過程で、米国の影響を大きく受けており、どうしても米国寄りの視界で物事を捉えてしまうが、1 つの視界から歴史を捉えるのではなく、多角的・多次元的な視界で歴史を捉え、全体知を持って、物事の本質を判断できる力が求められている。

このような文脈において、我々アジアダイナミズム班は過去の大帝国モンゴルに注目した。現在のモンゴルは、まさに現代世界の中心に位置するアメリカや中国でもない。しかし過去のモンゴル帝国は、ユーラシア大陸への展開により、東西世界を繋ぐ基点となった画期的な存在であった。そこで 2017 年には手始めにモンゴル帝国史の視界から世界を捉えるため、「モンゴル帝国のユーラシア興隆史」と題して、モンゴル帝国の興隆要因について研究成果をまとめた。また 2018 年は、2017 年のモンゴル帝国の興隆の要因について残された課題を深化すると共に、なぜユーラシア大陸に最大判図を張り巡らせた巨大帝国が衰退の道を辿ったのか、また後世に目に見える影響力を及ぼしていないのかという問題意識を持って、衰退の原因について 700 年という時間軸を通して研究を進めた。そして今年度 2019 年には、過去 2 年の調査を踏まえ、モンゴル帝国の覇権下における世界秩序を研究しつつある。具体的には、モンゴル

時代の朝鮮半島および中国の歴史に焦点を当て、時代や環境の変化の中で組織を維持するため為政者がどう行動したのか、具体例から見通したものである。しかも当時の大陸との政治関係や文化の受容は現代社会にも影響を与えるものとなっていた。そしてこれは最終的には現在の大韓民国や北朝鮮の言動にも関係するものとなっているのである。こうして各国を歴史的観点から本質的に捉え、国際関係での行動を模索することを視野に入れ、さらには私たち自身のこれからの生き方、働き方、歴史認識、時代認識、組織運営、そして日本人としてのアジア・世界との向き合い方の指針としていきたいと考えている。

11世紀～13世紀のアジア地図

13世紀のアジア～モンゴル帝国

11世紀～13世紀のアジア地図

2017年・2018年　論文の結論

2017年　モンゴル帝国のユーラシア興隆史 107ページ

モンゴル帝国が現代にもたらすもの
1. 「経済連携」による「平和と安定」
2. リーダー（チンギス・カーン）の「思想」と「視野」：イル（仲間）になる思想・多様性の受容

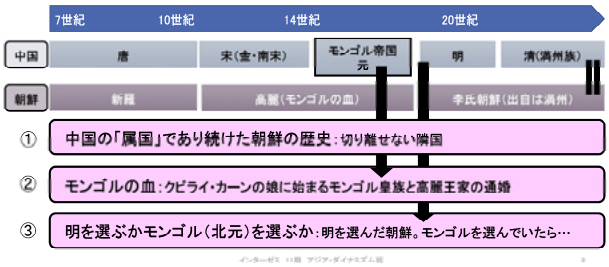
2018年　モンゴル帝国の興隆と衰退 244ページ

新たな発見
1. モンゴル帝国は現代にまで「ソフト面」を遺した
2. モンゴル族はアイデンティティが薄いから世界統一できた

得られた示唆
1. 歴史は繰り返す：ゆるやかな統治の限界点
2. 拡大から縮小過程の生き方：成長だけではない生き方
3. リーダーの資質：資質とガバナンスの低下

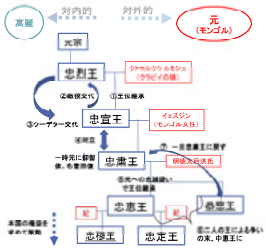
朝鮮半島とモンゴル帝国・中国

残された課題を研究するために、
モンゴル帝国、元と深い関係を持つ高麗にフォーカスを当てる



高麗の知恵と失敗

高麗王家とモンゴル皇族の通婚関係と内部闘争



高麗の知恵

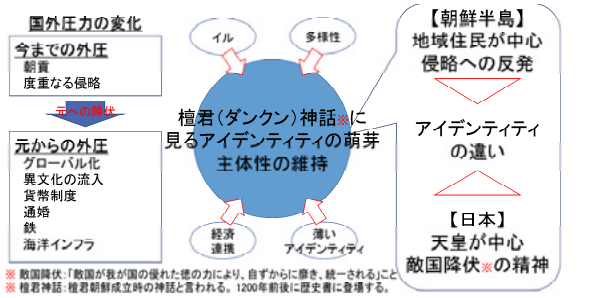
1. モンゴル（元）皇族との通婚関係により元の官職を得る
2. 対日警戒網を統括する役割を担うことで元と一体となりつつ主体性の維持
3. モンゴルの定例要求（人質・物資・軍事協力等）が軽減され、王制維持の現実化

高麗の失敗

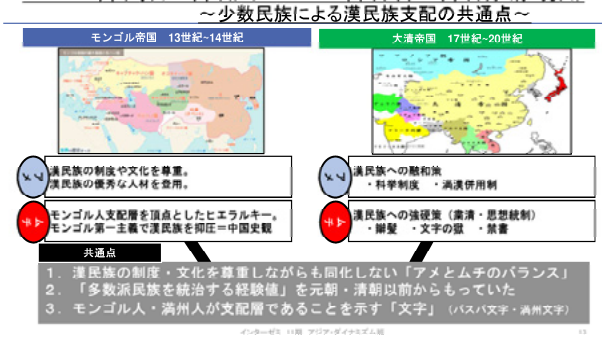
内部闘争により、体制の弱体化へ

個々の欲や内向的な組織は持続的な体制を築けない。事が始まる時や拡大していく段階では、カリスマ要素のある個人技も必要。組織の持続的安定のためには、多様な考え方や第3者の目を入れることが必要不可欠

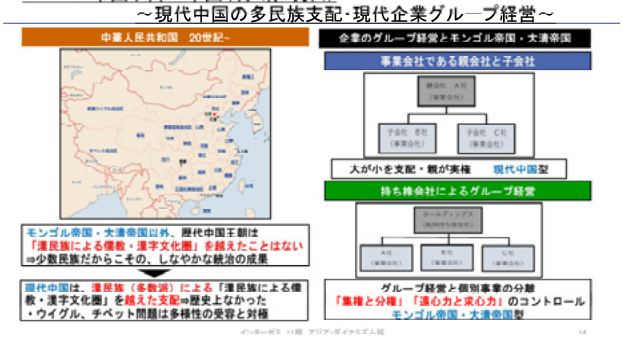
変革によるアイデンティティの確立



モンゴル帝国時代の中国（元）・モンゴル帝国以降の中国（明・清・現代）
～少数民族による漢民族支配の共通点～



モンゴル帝国以降の中国（明・清・現代）
～現代中国の多民族支配・現代企業グループ経営～



本当の生きやすい環境のために

多摩大学目黒高校投資戦略スタディーグループ
１年４組山田千慧
１年６組入岡美有
１年６組大谷眞未

１.はじめに

・私たちは、日経STOCKリーグに参加するにあたり、「貧困の改善」という、いつまでも話されている課題に目を向けました。発展途上国では全体的な不衛生さ(環境の汚染)や治安の悪さ(〇〇がダメだから他が改善しない)といった様々な負のスパイラルが起きていることが多いです。
・また、日本での死因の多くが、生活リズムの乱れによる生活習慣病や、ストレスによる自殺などに変化しています。そんな中で、昔と変わらず貧困の影響による栄養失調や医療技術の不十分さといったことが多い国に興味を持ちました。
・「貧困の改善」のためには自国の力だけでは限界があり、先進国の手助けが必要不可欠です。もちろん発展途上国においての課題は、衛生面や環境面だけではなく、経済面(いわゆるお金の回し方、金回り)も重要なことです。日本の企業はどれだけ支援を行っているのか、その援助によりどれほどの影響が出たのかを、この活動(STOCKリーグ)を通して調べようと考えました。

２.課題

・世界中の国の中には水道が通っておらず、衛生的に良くない川の水を使っている国や、病気や怪我をしても適切な治療が受けられずに死亡してしまう状態になっている国があります。そこでそういった状況をSDGs(持続可能な開発目標、2030年までに達成すべき17の目標)に置き換えて考えてみると、1 貧困をなくそうと、3 全ての人に健康と福祉をの2つの目標からは、全くかけ離れている状態であり、2030年までの短い期間で一刻も早く達成すべき課題だと考え、ここでの課題としました。

３.投資テーマ

「発展途上国の状態を良くするために、今活動をおこそう」
SDGsにおいて
・1　貧困をなくそう
・3　全ての人に健康と福祉を
・6　安全な水とトイレを世界中に
・10　人や国の不平等さをなくそう
の４つに目を向けて

４.選定した企業

・Kubota　　・アズワン
・ロート製薬　　・シップヘルスケアホールディングス
・総合メディカル株式会社　　・トーカイ・大和証券
・ツキヨシアクティ　　・ザ･コーポレートゲームズ東京
・CoLife　　・Kaien
・トランスアクト　　・小川珈琲株式会社
・アート引越センター　　・電通
・Panasonic　　・Zホールディングス（Yahoo Japan）
（・吉本興業）　　（・かんぽ生命）

５.選定基準

発展途上国に対しての援助や支援、その他衛生状況を良くするために活動している企業をえらびました。
特にKubotaでは、発展途上国に対して、安価での農業機器の輸出や水の整備などSDGsに則った多くの課題に取り組んでおり、世界各国で多くのプロジェクトを行っています。
また、Panasonicでは商品の無償提供や、社会課題解決に取り組む団体への支援などにより、途上国の貧困解消や教育機会の増大のためのまちづくりに貢献しています。
このように世界中に目を向け、SDGs のうちの 4 つの課題に即した活動をしている企業を選びました。

2019 年度 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

［願いを込める 増上寺七夕まつり和紙キャンドルナイト-2019-］

多摩大学目黒高等学校
目黒イベント Study Group
2 年 樫村／倉次／中西／村上

1)はじめに

目黒イベント Study Group は、多摩大学村山貞幸ゼミの日本大好きプロジェクトに所属する大学生と一緒に活動しています。

日本大好きプロジェクトは、日本の伝統文化を継承する活動を行っています。訪問型の子ども向けイベントや、港区六本木の東京ミッドタウンや港区浄土宗増上寺などで、多くの方々に日本の「和」を感じて頂く和紙キャンドルナイトイベントを実施しています。

私たち高校生や中学生は様々な大型集客イベントに参加し、商店街で行われるイベントの企画・運営に実際に携わることにより、社会に出てから役立つ創造力や判断力を養う為に活動しています。

今回、中学生と高校生が高大接続の活動の一環として参加しました。

2)実施概要

開催日程:2019 年 7 月 6 日(土)、7 日(日)
7 月 7 日(日)は雨天により天の川は中止
開催時間:18:00～21:00
会場:浄土宗大本山増上寺
企画・運営:多摩大学村山貞幸ゼミ 日本大好きプロジェクト
主催:浄土宗大本山増上寺

【内容】

増上寺の三解脱門から大殿にかけて天の川をイメージして和紙キャンドルを並べて灯すことで、「七夕」を表現しました。 また、こども和紙のブースでは東京・東北のこども達の夢や願い事が書かれたメッセージ和紙を並べました。 今年は株式会社東京タワー様にご協力いただき、東京タワーの麓に LED ライトを用いて和紙に灯を灯しました。

雨天の予報により、6 日(土)は規模を縮小して行いました。雨天より、7 日(日)は天の川を中止にしましたが、 こども和紙はピロティに場所を移してイベントは開催しました。

規模縮小にも関わらず、イベントは 2 日間合計で 29,025 名ものご来場者様にお越しいただくことができました。

【目的】

東日本大地震で被災した方々の想いをご来場者に伝え、各地の方々の想いを繋げる。

各地の方々の夢や願いを届け、伝える。

【和紙キャンドル総数】
天の川:3700 枚
こども和紙:1200 枚(東京:600 枚、東北:600 枚)
東京タワー:1200 枚

3)各ブースの紹介

【天の川】

イベントでは全て学生が 1 枚 1 枚心を込めて漉いた 3700 枚もの手漉き和紙を和紙キャンドルにし、77 メートルに渡って並べました。

株式会社東京タワー様のご協力により、イベント終了まで東京タワーがライトアップされていました。その為、三解脱門付近で見ると天の川の続く先にライトアップされた東京タワーを見ることができ、 より幻想的な空間が表現できました。

【こども和紙】

東北(岩手、宮城、福島)と東京の児童館、保育園、幼稚園に通う児童 1200 名の夢や願いが書かれている和紙キャンドルを 日本の伝統文様である「輪違い文様」をイメージして、設置しました。 これには、”東北と東京のこどもたちの想いを繋ぐ”という意味が込められています。

【東京タワー】

今年度から株式会社東京タワー様にご協力いただき、東京タワーの麓で織姫と彦星の造形和紙をメインとした天の川企画を実施しました。

増上寺から続く天の川の先で織姫と彦星が出会うというコンセプトのもと、和紙キャンドルを設置しストーリー性のある企画として、ご来場者様に楽しんでいただきました。

4)イベントを終えての感想

中学 3 年生から高校 2 年生までが今年度初めて参加した大型集客イベントでした。

初めてこのイベントに参加する生徒も多く、不安もありましたが、大学生の方々のサポートにより、参加した生徒は 1 つの大事な経験をすることができて自信に繋がりました。

イベント終了後には 1 人 1 人が主体的に行動できるようになり、成長することができました。

高校生で商店街のイベントなどの企画・運営を行う際、今回のイベントで学んだことを活かし、社会に出てから役立つ基礎的な力を身につけていきます。

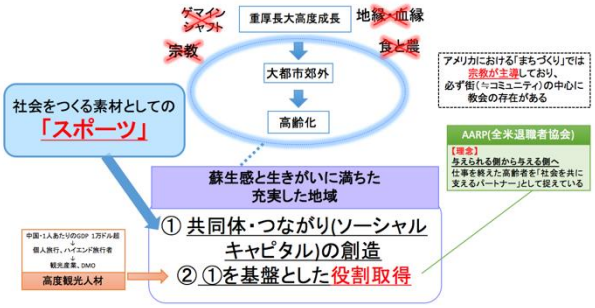
以上

大都市郊外型高齢社会のコミュニティ形成への挑戦

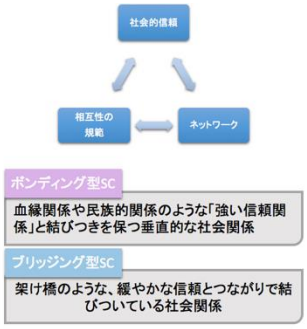
インターゼミ：サービスエンターテイメント班（2019 年 12 月 14 日 多摩大学 AL 祭）

インターゼミサービスエンターテイメント班では、10 年にわたり国民のエンターテインメントや消費という側面から、社会の変遷と課題について考察を重ねてきた。今年度は、多摩地域における様々な課題を解決する手段のひとつとして「スポーツ」に着目し、新たなコミュニティやソーシャル・キャピタルを創出する可能性について考察を行っている。

【研究の全体ビジョン】



【ソーシャル・キャピタルの概念図】



稲葉陽二(2011)「ソーシャルキャピタル・入門」より

1. 問題意識・研究目的

昨年度はジェロントロジーの視点から多摩地域における消費動向の変遷に焦点を当て、住民のライフスタイルについて考察を進めた。その結果、多摩地域を蘇生感と生きがいに満ちた地域にするためには、最低限の消費活動のほか、市民が役割意識を持って参画できるプラットフォームが必要であるという結論に至った。我々は、多摩地域が抱えている様々な課題は「ソーシャル・キャピタル」の欠如と関係していると結論付けた。なぜなら、十分なソーシャル・キャピタルの存在は「孤立した人をつくらない包容力のある社会」や「円滑で信頼できる社会」につながるからである。例えば、アメリカの AARP(全米退職者協会)という組織は、高齢者が役割を得て社会に参画することを後押しする仕組みとなっている。このような既存事例から、住民同士の「つながり」が希薄である多摩地域の住民の孤立問題を解消するには、地縁・血縁のほか、新たな「つながり」を創造し住民の役割取得を達成させることが期待できる。

今年度のサービスエンターテイメント班は、観戦型スポーツと参画型スポーツに着目し、「スポーツが地域住民の社会参画やコミュニティ形成に寄与する可能性」を探求することを研究目的にした。

2. 「スポーツ」観戦型コミュニティ形成の可能性

ここでは、スポーツ観戦行動を通じたソーシャル・キャピタル創出の可能性を考察した。

【文献調査】杉本厚夫・橋本純一による先行研究の調査

先行研究の調査を通して、「スポーツ観戦行動」は、異質なもの同士を繋ぐブリッジング型ソーシャル・キャピタルの創出や、役割取得、帰属意識の醸成に寄与することが確認できた。スポーツ観戦行動がもたらす様々な効果は、地域コミュニティにおけるソーシャル・キャピタルの構成につながると考えられる。

【FW：ヒアリング】スポーツ観戦を通じたコミュニティ形成の事例の調査

Ｊリーグの観戦文化研究を行なっている仲澤眞氏へのヒアリングから、クラブとサポーターとスポンサーが三位一体となって地域の共有価値創出を行なっていることが明らかになった。また、チームへの愛着度を表す「アイデンティフィケーション」がリーグ全体でみても高いことから、地域スポーツの「観戦行動」が住民の帰属意識の醸成に寄与していることが示唆された。

また、八王子に拠点を置き、地域に根ざしたチーム作りに取り組んでいるプロバスケットチーム「東京八王子ビートレインズ」の沢登敏也氏、望月舞子氏へのヒアリングから、「チーム」をきっかけにし、新たなコミュニティの創出や、ブースター（ファン）の役割・帰属意識の醸成、更には高齢者の生活充実感の向上に寄与していることがわかった。

3. 「スポーツ」参画型コミュニティ形成の可能性

ここでは、サイクリングを通じた社会参画の「場」を創出する可能性について考察した。

【先行事例の分析, FW：ヒアリング】多摩地域におけるサイクルツーリズム発展の可能性

先行事例の分析から、地域住民や関係団体による連携の不足や、自ら地域を活性化しようという住民意識の希薄が多摩地域の特徴であることがうかがえる。チャリカフェへのヒアリングのなかで、多摩地域全体での自転車文化への理解やインフラ整備が課題であるという指摘があった。サイクルツーリズムに関わるボランティア活動には「専門知識」が必要であり、高齢者の参画は難しいため、具体的な参画方法を再検討する必要があることがわかった。

多摩地域は、都心から近いという立地の良さや娯楽施設の多さから、都会型サイクルツーリズムの発展に必要な要素は備わっており、ある程度人気を集めている。だが、それをさらに進化させるには、自転車文化への理解の向上や自転車走行環境の整備、サイクリストをサポートするボランティアの育成などが課題として残されている。

【文献調査】スポーツボランティアの調査

能動的に行動できる「ボランティア」の存在は、ソーシャル・キャピタルの構成につながる可能性が潜まれる。したがって、ソーシャル・キャピタルを創出するにあたり、高齢者にスポーツボランティアとして参画してもらうことは具体的な方策の一つとして考えられる。実際に韓国の Yanpeong, Paldang では高齢者がサイクルツーリズムのボランティアとして活躍していることが報告されている。その際、スポーツボランティアとして社会参画を希望する高齢者に対して、具体的な役割の付与やスキルの育成、きめ細かなフォローなどが課題となる。

4. 結論

ここまで、「スポーツ」が地域住民の社会参画やコミュニティ形成に寄与する可能性について、観る「観戦型」と支える「参画型」の 2 つの側面から考察を進めてきた。

「スポーツ観戦行動」は、地域アイデンティティの醸成、コミュニティへの帰属意識や規範の創造だけでなく、相互性の安定や連帯感の向上にも寄与することが示唆された。

また「参画型」では、多摩地域でサイクルツーリズムを発展させるためには、地域全体での意識改革やインフラ整備、インバウンド対策などが課題としてあげられるが、スポーツボランティアを通じてソーシャル・キャピタルを創出する可能性はあることが再確認できた。

以上のように、伝統的文化や歴史、住民同士のつながりが希薄である多摩地域において、孤立した住民をつなぎ新しいコミュニティを創出することを考える際、「スポーツ」は有効な方策として大いに期待できるといえる。

2019 年度 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

[高校生が考える 新しい商店街への第一歩]

多摩大学目黒高等学校
目黒イベント Study Group
2 年 樫村／倉次／中西／村上

1)はじめに

目黒イベント Study Group は、多摩大学村山貞幸ゼミの日本大好きプロジェクトに所属する大学生と一緒に活動しています。

日本大好きプロジェクトは、日本の伝統文化を継承する活動を行っています。訪問型の子ども向けイベントや、港区六本木にある東京ミッドタウンや港区にある浄土宗増上寺などで、多くの方々に日本の「和」を感じて頂く和紙キャンドルイベントを実施しています。

私たち高校生や中学生は様々な大型集客イベントに参加し、商店街で行われるイベントの企画・運営に実際に携わることにより、社会に出てから役立つ創造力や判断力を養う為に活動しています。

今回、中学生と高校生が高大接続の活動の一環として参加しました。

2)実施概要

タイトル:GAKUDI 東口収穫祭
開催日時:2019 年 9 月 8 日(日)
開催時間:14:00～(台風の接近のため終わり次第終了)
会場:学芸大学東口商店街
主催:学芸大学東口商店街復興組合

【内容】

9 月 8 日に学芸大学東口商店街で「GAKUDAI 東口収穫祭」を、私たち目黒イベント Study Group で企画、運営を実施しました。

イベントの企画をたてる前に商店街の方と会議を行いました。

今回のイベントでは高校生側から Instagram を利用して商店街を SNS で発信する方法を提案し、それを実現させていただきました。

雨天のため開始時刻を早め、全ての配布が終わり次第イベント終了となりました。

【目的】

学芸大学東口商店街をより幅広い世代の方々に知っていただき、さらに賑わいのある商店街にする。Instagram を活用して、学芸大学東口商店街の情報を発信できる環境を作る。

3)企画、各ブース紹介

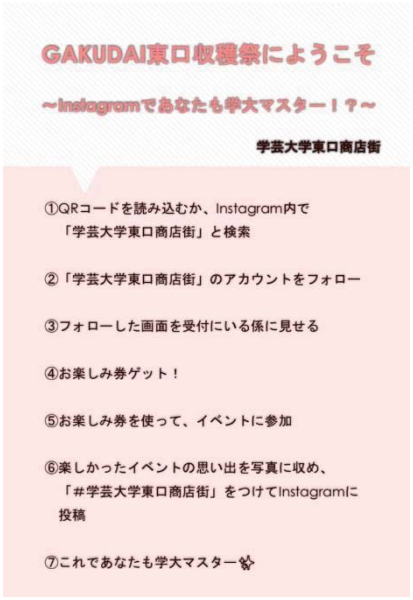
【輪投げ】

雨天のため輪投げは開催せず、カットスイカの配布のみを行いました。
そのため幅広い年齢層の方々に楽しんでいただくことができました。

【抽選会】
　商店街内でお買い物をされた方に配布されている「お楽しみ券」1 枚で 1 回参加していただきました。
　野菜や果物の詰め合わせ、学芸大学東口商店街内で使える商品券を景品とし、多くの方に参加していただきました。

【焼きとうもろこし】
　1 人 1 本ずつ先着 1000 名様に焼きとうもろこしを配布しました。常に並んでいる方がおり、全て配布することができました。

【ミニトマトすくい】
　参加した方に水槽に浮かんだミニトマトをおたまですくっていただきました。ミニゲームに近かったため、小さいお子様からご年配の方まで
幅広い年代の方に参加していただくことができました。



【Instagram の活用方法】
　①参加者の方に、ブラウザ上から QR コードを読み込むか、Instagram 内で「学芸大学 東口商店街」と検索していただく。
　②「学芸大学東口商店街」のアカウントをフォローしていただき、その画面または、その画面をスクリーンショットしたものを受付にいる係に提示していただく。
　③係が確認できたら、1 人につき 1 枚お楽しみ券をお渡しする。
　④お楽しみ券を利用してイベントを楽しんでいただく。

　学芸大学東口商店街を訪れた方に商店街の公式のアカウントの存在について知っていただくことができました。
　今後のイベント情報を発信に役立てていきます。

4)イベントを終えての感想
　雨天のため、開始時刻を早め全ての配布が終わり次第イベント終了となりましたが、多くの方々にイベントを楽しんでいただけました。
　私たち高校生が提案した Instagram を活用した商店街の情報発信の新たな方法を、商店街の方々に取り入れて頂くことができました。これからの商店街の可能性について改めて考える機会となりました。
　高校生の私たちでも地域活性化に、役立つことができるのだと感じました。
どのブースにも課題はあったものの、それに対する改善策をメンバー全員で提案し合い、次のイベントに活かしていきたいです。

以上

２０１９年度　インターゼミ（社会工学研究会）多摩学班

2019.12.14.Sat

「多摩地域の産業から未来を描く～住み続けたい街の実現に向けて」

学生メンバー　遠藤、馬場、伊東、神尾、白井

What's“インターゼミ”？？→

リサーチテーマを決めた背景と多摩地域の現状

2009 年からの多摩学班 10 年間の研究で、多摩地域は急速な高齢化によるコミュニティの衰退が問題視され続けてきた。そこで今年度は、昨今課題になっている〈地域の持続性〉とは、地方都市だけではなく、大都市郊外型地域（ベッドタウン）である多摩地域にも同等の問題として意識すべきであると考え、学生目線で持続可能な地域の形成に向けた提案を試みる。また、過去の研究テーマとして挙げられなかった、多摩地域の産業の、時代による変化について調査を行い、産業が及ぼす地域の持続性を考える。その際、多摩地域に隣接した、先端産業に注力している神奈川 3 都市（横浜市、川崎市、相模原市）も比較参照として参考にする。

全国に点在しているベッドタウンはコミュニティが生成されにくいことが欠点でもあり、失われたコミュニティが引き起こした多くの事件が、コミュニティの大切さを物語っている。ただ、本発表で地域産業の持続性から、地域コミュニティの持続性についての可能性を考える材料を見出すことが出来るのではないだろうか。

【課外調査】

一般社団法人首都圏産業活性化協会(TAMA 協会)、川崎市産業振興課、川崎信用金庫、株式会社さがみはら産業創造センター、東京都統計局統計部、国立国会図書館、東急総合研究所など計 16 カ所（12 月 6 日現在）

多摩地域の地勢と歴史

【地域の歴史と産業史】

多摩地域は戦中、軍需都市であった。当初は、組み立て工場として機能していたが、後に研究開発がメインとなる。多摩地域で軍需工場が広がった背景として、①工場用地にしやすい（火山灰により農業としての利用価値が低く地価が安い）　②飛行機産業の発展がほぼ同時期　　③鉄道の敷設が背景にあった。戦後、それらの軍需工場は戦中の技術を生かし、民需産業への転換をはたしている。

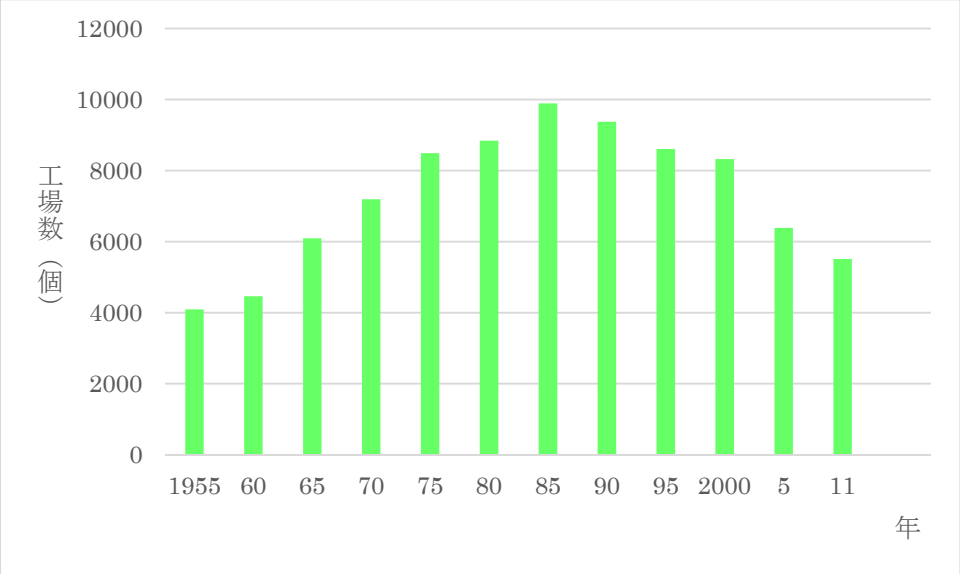
【鉄道の開発】

鉄道は時代によって用途を変えながら運営をしている。横浜線は、当初、輸出用の生糸を横浜港に運ぶために作られた。戦中の鉄道は主に軍需用と人力用に分かれていた。例えば、JR 青梅線では、立川飛行機にほど近く、周辺に軍施設が相次いで開発されており、それらの物資を運ぶ役目を果たしていた。

一方、私鉄は主に昭和初期に開業し、民間の鉄道として、多くの住民の足となっていた。ただ戦後、1960 年代に多摩ニュータウンが開発されたものの、入居開始当時は京王相模原線・小田急多摩線が走っていなかった。この交通の便の悪さが、この地域を「陸の孤島」とも呼ばれるようになる要因となった。

多摩地域の産業実態と変化

戦前は生糸産業が盛んだったが、昭和恐慌をきっかけに、日野市などが機械工場の誘致を行った。ここから多摩地域の機械工業の歴史は始まる。戦後も軍需から民需に工場が転換したため大きな変化はなかったが、平成の不況を経て、多摩地域に拠点を置いていた工場は、海外や地方に移転して工場数が激減した。現在は、教育機関を筆頭に、サービス産業などの第三次産業の事業所ばかりが増えている。一方、川崎市では、同じ状況下にありながら、”研究開発の街”として新たな一歩を踏み出している。また、相模原市では、ロボットなどの最先端の技術の開発を行っている。どちらの市も、二次産業の潜在性を突き詰めるべく研究を進めており、また、行政が支援を強化していることも分かった。



[1]多摩地域の工場数　5 年ごとの推移（著者作成）

未来の多摩地域はどのようになっている？

なぜ人々が多摩に住み続けてきたのか。それは、本発表で見てきたように、戦前から多摩地域には産業が根付いており、そこに働く人々が住まう街だったからである。そのため現在でも人々が多摩地域に住む理由として、勤務先から近いことが上位に挙がってくる。しかしながら、平成の時代から工場は激減している。そのため今までのベッドタウンのやり方では、全国的な人口減少と少子高齢化に対応出来なくなってしまうことは確実だ。多摩地域が住みやすいと思われる魅力ある地域にするためにはどのような工夫が必要なのだろうか。

ありたい多摩地域の実現に向けて５つのアクションプラン

学生が 1 人ずつ考えた、多摩地域の未来に向けた産業の取り組みを紹介する。
子育て環境の充実化、農業×IT@多摩、多摩地域の自給率向上に向けた取り組み　　など…

[1] 東京都統計年鑑 http://www.toukei.metro.tokyo.jp/tnenkan/tn-index.htm より各年工業から抜粋、著者グラフ作成

山添村×帝塚山大学
旧西豊小学校校舎再生プロジェクト

帝塚山大学 現代生活学部 居住空間デザイン学科
能島優仁, 祐岡亜弥

旧西豊小学校とは

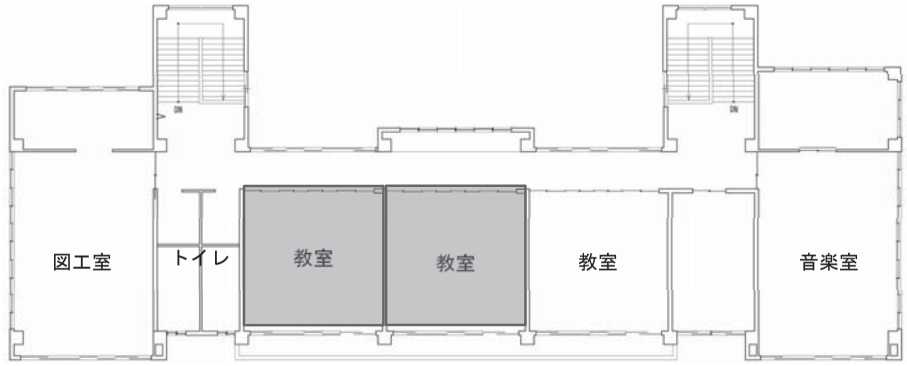
平成14年に閉校した奈良県山添村の小学校

BP-3

旧西豊小学校再生プロジェクト
これまでの活動

- 2018年 秋
  - 現地調査
  - 活用方法のプレゼンテーション
- 2018年 12月
  - 大掃除大作戦
- 2019年 3月
  - 山添村×帝塚山大学 デザインフェスタ

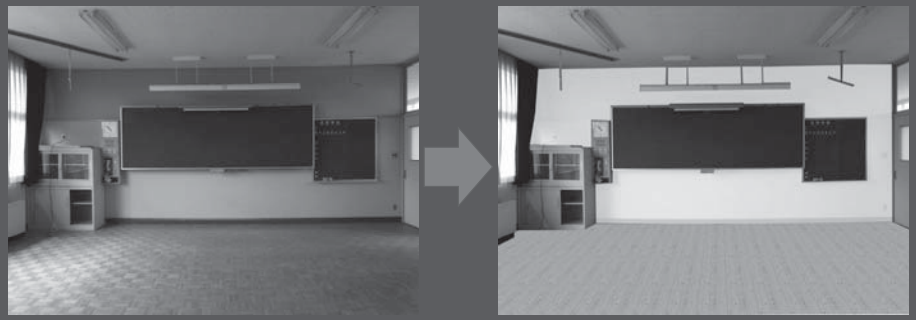
旧西豊小学校再生プロジェクト 第二弾



３階の２つの教室を改修

旧西豊小学校再生プロジェクト 第二弾

・教室2部屋を寝泊り可能なフローリングの部屋へ改装



初日と２日目は清掃および部屋の塗装

３日目と４日目はプロの指導を受けながらフローリングの敷設

ロシアの文化について

発表者　多摩大学目黒高等学校２年

木村優希　榊星苑　瓶子結稀　松本理奈

多摩大学目黒高等学校の多文化共生スタディグループは、公益財団法人目黒区国際交流協会（MIFA）が開催している世界各国の文化紹介のイベントに参加しています。

今年は６月にイスラエル、７月にアメリカ（シアトル・シリコンバレー)、９月にロシアの文化紹介イベントに行きました。普段はなかなか聞けないお話が聞けたり、各国のお菓子を食べたりと貴重な体験ができたと思います。

それぞれのイベントの前に、事前学習として、多摩大学グローバルスタディーズ学部の田中孝枝先生の講義を受けました。３か国とも、初めて知ることが多かったです。

その中で特に興味をもったのはロシアでした。

面積は日本の約 45 倍と広大な国であり、また歴史、経済、文化などの面でも、日本と関わりの深いロシアですが、まだまだ知らないことが多いと実感しました。

同時に、意外な共通点があることも知りました。

事前の講義、そして文化紹介イベントに参加して感じたこと、考えたことを発表します。

One coin Wi-Fi

ーポケットWi-Fi自販機ー

多摩大学目黒高等学校 起業体験プロジェクト
1年 菊子 慎ノ介 / 桑畑 仁 / 砥上 翔輝

Introduction—私たちのプロジェクトとは？ー

私たちの活動では、自分たちで起業することを体験し、様々なことを学ぶことを目標としています。今、世の中では様々なものが実現されて、とても便利な生活を送ることができています。しかし、「もっとこうだったらいいのに」と思うことはまだまだたくさんあります。それを実現するために社会に対して働きかけるということを、高校生の私たちが自ら体験することで、何か得るものがあるのではないかと考えています。

Chance—このビシネスプランを思いついたきっかけー

近年では、外国人を含みスマホやパソコンを持ち歩く人が増えてきました。飲食店や電車内などでもほとんどの人が使っているほどです。そんなスマホやパソコンですが、使っていると「Wi-Fiが欲しい」と思うことが多いと思います。私たちもそんな風に感じ、外でももっと手軽にWi-Fiが使えないかと考えたのがきっかけです。

Product Content—商品紹介ー

〈サービスの仕組み〉

①ユーザーが専用のアプリをダウンロードし、アプリ内でアカウントを作成する。
②アプリで自販機のQRコードを読み取り、ポケットWi-Fiを借りる。

〈セールスポイント〉

同じようなサービスに、ポケットWi-Fiのレンタルサービスとフリーwi-Fiがあります。
しかし、レンタルサービスは、長期間の貸し出ししかなく、その分値段も高くなってしまいます。
また、フリーWi-Fiは値段はかからないものの使える場所が限られてしまいます。
それに比べ、ポケットWi-Fi自販機は、500円という低価格で、場所を選ばず、手軽に使うことができます！※ただしカード払いのみ
想定しているターゲット層・スマホ、パソコンを持っている若者（主に20〜30代）

Problem—実現に向けて考えられるハードルー

〈リスク〉

①ポケットWi-Fiの紛失、破損
②フリーWi-Fiに人がいく

〈対処方法〉

①返却がなかった場合、カードに請求をする。(1500〜2000円程度)
②フリーWi-Fiがない観光地や、電車内などでも使えるように駅に設置する。

多摩市シティーセールス　【中村その子ゼミ 田島宏基】

多摩市
シティーセールス

SAKURA Premium Park

中村その子ゼミナール
田島 宏基

都立 桜ヶ丘公園

都立 桜ヶ丘公園

都立 桜ヶ丘公園

コンセプト
かつての多摩丘陵のすがたである自然が身近に体験できる公園

いいところ
- とても満足度の高い公園
- 新宿からのアクセスが良い！
- とにかく広い

悪いところ
- しかし、公園に来る理由がない。
- そもそも知らない。
- レストランや商業施設が全くない。（良さでもある）

発想の転換

今までの桜ヶ丘公園
イメージの問題
（若い人目線から）公園ってなんかダサい。
わざわざ行く気しない。がっかりしそう！

提案する桜ヶ丘公園
高級感漂う上質なお庭
デートで使える！ここの近くに住みたい！

イメージの転換・ブランドの付与

公園の名前を変える！

都立　桜ヶ丘公園

SAKURA Premium Park

観光地への旗揚げをする。
ブランドをつくることができる。

でも…

本当に上質な公園に来てもらうことで
地域活性化になるのでしょうか？

目的は何か？

本当の意味での
地域活性化にはなってません。

例えば
テーマパークのある地域を思い浮かべてください！

→私たちがつくりたいものは地域のシンボルです。

提案

地域住民の参加

地域の方々と共に１つのテーマパークを作り上げてゆく。

多摩市の方々はキャストとして参加できます。

目的
多摩市民である事を誇りと思えるような公園を作るため。
多摩市民の『輝ける場』の提供。

レストラン・カフェを誘致

提案１

桜ヶ丘公園は、レストランの庭のように整備されており
一流の資源を保有している！

インキュベーターとしてのテーマパーク！

そこで多摩市で起業を目指している起業家にお店を開く機会を設ける。
レストランスペースを設け、お店を開きたい地域の方に店舗の貸し出しを行う。
地域の起業家を育てるステージとして活用する。

レストランを3軒・同様にカフェを5軒
例えば
オーベルジュ（宿泊型高級レストラン）
ブルーノート様（一流のジャズを聴きながらフランス料理やお酒を楽しめる）
のようなコンセプト・特色を持ったお店を開店して頂く。

都立公園→レストランの庭
というイメージ転換させる。

アクティビティーの用意

DREAM ARTIST STUDENT プロジェクト

公園内の川沿いにある木や柱に何本かにQRを設置する。

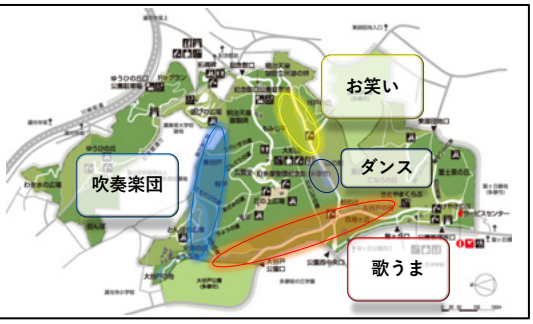
部活・サークル

そのQRには
多摩地域の高校生・大学生を対象に動画を募集し配信を行います。
多摩地域には学校がたくさん有り、その特色を生かした提案です。
参加圏を広げることで多摩地域にわざわざ来てもらうきっかけになる。

川ごとにジャンルを変える。（お笑い部門・音楽部門など）
撮影は各自スマートフォンの専用アプリで応募（アップロード）を行い、
毎月26日の締切日に多摩市で審査を行い
評価の高いものは配信出演が決定が決まる。

配信内容は1ヶ月に1回更新される。

提案２



イメージ図

アプリケーションの作成

アプリケーション上で一日一票投票するごとに投票をできるようにする。
（SAKURA Premium Park内で再生した動画しか投票できない。）

アプリケーション上では
各出演者の**柱の場所・ランキング**が表示される。

※各ジャンルのランキング下位から10位は来月の出演権を与えない。

グランドチャンピオン大会

一年に一回、桜が咲く頃（4月1日）
グランドチャンピオン大会が開催される。

各月のランキング1位の受賞者に出演してもらい
各ジャンルの演技をして頂きその年のグランプリを決める。

出店を多数出店させ、フェスのような雰囲気を演出する。

多摩地域の学生を対象としているが
参加圏を広げ東京都の学生も参加できるようにしてゆく。

イメージ図

なぜ、いいのか？

- 『発信の街』というブランドイメージをつくることができる。
- ターゲットである若者にどストライク。
- 幅広い年齢を抑えることができる。
- 継続的に利用してもらえる。
- 住みたい地域にすることができる。
- 魅力に気づいてもらえる。
- コンセプトができる。
- 目的ができる。（観光地化することができる）
- 地域の魅力的な人を発掘できる。

このプロジェクトは様々な場所で活用できる

例えば…

自然の敵Ｐ

多摩大学目黒高校投資戦略ＳＧ
2年2組5番仲江川祐未
2年2組32番早川光
2年7組36番山田美菜
2年7組25番鈴木康一郎

1. 概要

もともと投資戦略ＳＧという活動は、学校のＡＬ（アクティブラーニング）活動の一環として企画された有志参加型の活動である。参加者の中から同学年の4人が集まりこの班は結成された。

この活動を通して、自ら問題を発見し解決に向け働きかける経験を得る、株式の仮想投資という実践学習を通し経済の末端を理解する、環境問題の原状と企業との関係を知り自分たちにできることを考える、といった３つの目標を達成したい。

2. 日経ストックリーグについて

以下ｍａｎ＠ｂｏｗサイトから引用

“日経ストックリーグは、学校教育の場における投資学習の１つのツールとして企画されたコンテスト形式の投資学習プログラムです”

“チーム内で議論して投資テーマを決め、500万円分のポートフォリオ（10銘柄以上、20銘柄まで）を構築し、レポートを完成させてください。”引用終わり

3. 社会的課題

海洋プラスチック問題とは、生活圏などで発生したプラスチックごみが、川などを通じて海に流失、分解されずに漂流し続けている問題である。

海洋プラスチックは景観が悪い他、マイクロプラスチック（以下ＭＰ）と呼ばれる細かく砕けたプラスチックが、海洋生物の捕食に伴い、体内に取り込まれてしまう点にも問題がある。魚を食べる人間も例外ではなく、オーストラリアのニューカッスル大学の調査によると、一人当たり一週間に5ｇ（クレジットカード一枚に相当）のプラスチックを取り込んでいる可能性がある。ＭＰは海でさまざまな有害な物質を吸着しているといわれているが、人間が体に取り込んだ際どのような影響を及ぼしているのかまだはっきりとは解明されていない。

また、石油が有限資源であることを鑑みず、今まで通りの量・方法で使用し続けていくのは持続可能な社会に向かっているとは言えない。

4. 投資テーマ

上記の社会課題をうけて我々はテーマを【廃プラスチック問題(略して「廃プラ問題」】に決定した。
以下にあげるＳＤＧｓの課題も参考にしつつ、企業を選定していく。

目標１２「持続可能な精算消費形態を確保する」

２「2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する」

４「2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じて化学物質やすべての廃棄物の環境に配慮した管理を達成し、大気、水、土壌への排出を大幅に削減することにより、ヒトの健康や環境への悪影響を最小限に留める」

５「2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する」

６「大企業や多国籍企業をはじめとする企業に対し、持続可能な慣行を導入し、定期報告に持続可能性に関する情報を盛り込むよう奨励する」

８「2030年までに、あらゆる場所の人々が持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする」

ａ「開発途上国に対し、より持続可能な生産消費形態を促進する科学的・技術的能力の強化を支援する」

目標１４「海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する」

１「2025年までに、陸上活動による海洋堆積物や富栄養化をはじめ、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に減少させる」

5. 選定方法

企業の選定は何段階かに分けて行う。

第１スクリーニングでは、新聞を中心にインターネットなどから廃プラ問題への取り組み行っている企業を集める。

第２スクリーニング以降は、集まった企業を取捨選択していく行程である。経済的観点や業種ごとの割合、労働環境、企業へのアンケートなどで点数化した後に比較する。最大保有銘柄数である２０社に近づけていく。

11/7現在では第１スクリーニングの途中であるが、第２スクリーニング以下も随時すすめる予定である。

6. 選定企業

以下に第１スクリーニングを通過した企業の一部をあげる。主な出典は日本経済新聞となっている。

日付新聞会社内容

2019/10/7　日経産業東洋インキＨＤ 使用済みプラスチックから着色を除く新技術を開発

2019/10/4　日経三菱ケミカルＨＤ バイオプラ関連の基幹特許の外部へのライセンス供与を決定

2019/8/23 FNNPRIME 大日本印刷再生可能なチャック付き紙容器を開発

2019/10/4 日経クラレ食品包装用フィルムにする生分解性プラスチックの生産

2019/10/4 日経サントリー食品インターナショナル使用済みペットボトルからの再生原料とバイオプラを組み合わせ、30 年までに新たな化石燃料由来の原料調達を、ゼロを目指す

奥多摩活性化プロジェクト「回してまわろう奥多摩ガチャポン」

多摩大学松本ゼミ 4 期生

私たち松本ゼミは、将来「起業したい」、「お店を出したい」、「企業で商品開発や新規事業開発に関わりたい」学生が、ビジネスプランを考え、企業の方々にプレゼンを行ったり、実際にイベントの企画・運営を行ったりする実践的な事業開発ゼミです。

奥多摩町ではゼミの創設以来、5 年間、継続して活動してきました。特産品の治助芋の栽培、治助芋をつかった料理の学祭での出店、奥多摩ＰＲのための動画制作、奥多摩活性化のためのプランの提案など、目的を共有する方々の助けを借りながら、ここまで活動してきました。

また今年度からは、奥多摩町の方々にプランを提案するだけでなく、実際に商品を製作し、販売することで、私たち自身が行動してきました。

I. 企画詳細

1. 回してまわろう奥多摩ガチャポン

ガチャポンの中に「鹿の角のアクセサリー」、「奥多摩缶バッチ」、「クーポン券」の 3 種類を入れて販売しました。

また、価格は 300 円で販売しました。

(1) 鹿の角のアクセサリー

奥多摩町で沢山とることが出来る鹿の角を使用して、「ネックレス」、「ブレスレット」、「イヤリング」を作成しました。

また、ネックレスの種類を 4 種類作成し、デザインのバリエーションを増やしました。

↑ネックレスとイヤリングの写真

(2) 奥多摩缶バッチ

奥多摩町で撮った写真を使用し、缶バッチを作成しました。

奥多摩町の風景を缶バッチにすることで、奥多摩町の魅力の一つである自然の豊かさを伝えます。

↑奥多摩缶バッチの写真

(3) クーポン券

奥多摩町にある観光名所・飲食店で使用できるクーポン券を(1)、(2)とセットでカプセルの中に入れて提供しました。

ガチャポンを回していただいた方々に、奥多摩町の観光名所・飲食店に足を運んでいただくきっかけを提供することで、奥多摩町の良い所を実感いただきます。

2.　現在ご協力いただいた企業･団体

(1) 氷川食堂

(2) 山のふるさと村

(3) 山城屋

(4) 釣り堀 café 二見

(5) トレックリング

(6) ポート奥多摩

II.　売上

1.　イベント売上

(1) 松本ゼミ主催イベント　……8,000 円

(2) オクターマーフェスト　……35,800 円

(3) 山のふるさと村 秋祭り……19,500 円

(4) 多摩大学 学園祭……8,200 円

(5) その他 ……3,600 円　　計：77,100 円

2.　クラウドファンディング

(1) クラウドファンディング……125,000 円

※クラウドファンディングでは、16 名の方々に応援いただきました。

III. SNS

1.　アカウント名

(1) Twitter：Twitter@matumoto_zemi

(2) Instagram：Instagram@matumotozemi

(3) Facebook：tamadaimatsumoto

2.　QR コード

Twitter　　Instagram　　Facebook

↑松本ゼミ主催イベントの様子

↑オクターマーフェストの様子

↑山のふるさと村 秋祭りの様子

以上

いちょう団地（祭り）について

発表者　多摩大学目黒高等学校１年

齋藤杏佳　深尾華乃

多摩大学目黒高等学校の多文化共生スタディグループでは、昨年から横浜市泉区・大和市にあるいちょう団地祭りにうかがっています。

いちょう団地には神奈川県最大の公営団地で、現在中国、ベトナム、カンボジア、ブラジル、ペルーなど 20 数か国の方々が住んでいます。

いちょう団地祭りでは、アジアのさまざまの国の踊りや歌の披露や、カラオケ大会も開催されます。また、さまざまなアジアの国の料理も販売されます。お祭りを構成する「多文化共生交流会」ではいろいろな国の文化紹介が行われます。日本文化の紹介もあ

り、様々な交流が行われるイベントです。

事前に多摩大学グローバルスタディーズ学部の田中孝枝先生の講義を受けました。

その中で、地域における多文化共生のためには、コミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活支援の３つが重要であると学びました。

日本の様々な地域で多文化共生が進んでいる中で、同時に抱えている問題、課題が多いことも知りました。

そのことを踏まえ、１０月５日（土）のいちょう団地祭りに参加しました。

講義で学んだこと、いちょう団地祭りに行って体験したこと、考えたことを発表します。

アジアダイナミズム研修

済州平和フォーラム「米中のトゥキディデスの罠」より

多摩大学目黒高等学校１年
大賀尚輝　山松桜上

１.参加した目的や理由

近年、日本のニュースや情報番組でみる韓国は正しいのか？日本の自衛隊が韓国から様々な苦情を受けたといったニュースをみて、韓国と日本の関係性が悪化してきている中、多摩大学高大接続プログラムといった、大学との共同の企画であるアジアダイナミズム研修を行っているのを知りました。

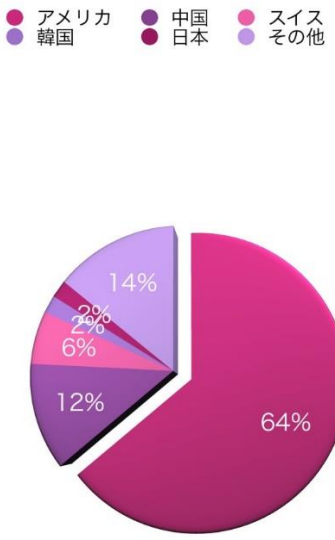
そこで、私たちが持つ疑問を解決したい、また、東アジア各国のセッションを目の前で聞いて生の空気を感じたい、日本から一番近い隣国韓国の文化を肌で感じたいと思い、このプログラムに参加しました。その中で、私たちはセッション「米中のトゥキディデスの罠」といったことに興味を持ち、今回、この件について調べ、まとめることとしました。

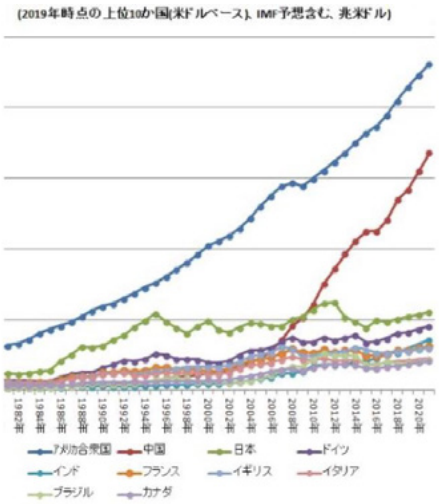
２.「トゥキディデスの罠」とは
～セッション「米中のトゥキディデスの罠」を通して～

トゥキディデスは古代ギリシャの歴史家で、ギリシャの都市国家だったアテネとスパルタの間のペロポネソス戦争を『戦史』としてまとめた人物である。これから派生して、急速に台頭する大国が既成の支配的な覇権国とライバル関係に発展する際に、それぞれの立場を巡って摩擦が起こり、当初はお互いに望まない直接的な抗争(戦争など)に及ぶ様子を表現する。

現在では、国際社会のトップにいる国はその地位を守るために現状維持を望み、台頭する国はトップにいる国につぶされることを懸念し、既存の国際ルールを自分に都合が良いように変えようとするパワー・ゲームの中で、軍事的な争いに発展しがちな現象を指す。アメリカ合衆国の政治学者グレアム・アリソンが作った造語である。

図１　　図２　主要国 GPD グラフ

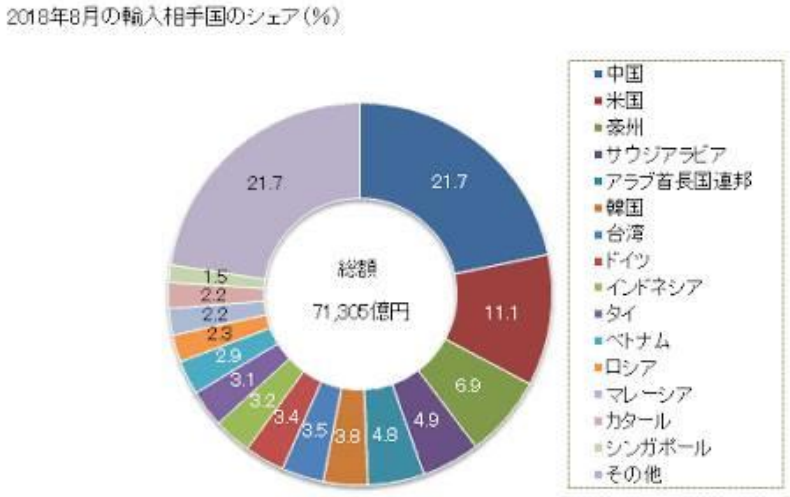




３．考察、結果と日本への影響

米中双方が貿易に高い関税を掛け合うことで、関税の安定してる国を介して中国の物がアメリカに入る、またアメリカの物が中国に入るなど、貿易の形が変化する可能性があるかもしれません。双方が関税を掛け合うという状況を、自由貿易協定を結んでいる国がよく思わず、米中双方の市場価値が下がり、他の国の市場価値が上がるかもしれません。そうなると日本は大幅な輸入先の変更をしなければいけないので、貿易が一時的に不安定になるかもしれません。

図３



令和元年度多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭
「アジアダイナミズム研修　高校生が考えたこと」

多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校
高校二年　中井　姫香
原田　剛瑠
小柳津　葵
牛尾　風雅
長谷川　稜
田代　惣一朗

１．ＡＬ祭参加にあたって

多摩の豊かな自然の中でのびのびと生活している本校生徒は、「外からの刺激」を受ける機会が非常に少ない。社会に出て、生き抜いていく下地作りをすべき中高時代において、これは少々心配なことである。世の中には刺激が満ち溢れている。その実感を得てもらうことを主目的に、この研修の募集を行った。研修における学びは以下内容に凝縮されており、こちらを是非ご一読いただきたい。

では、このＡＬ祭にて何をするか。参加生徒とのディスカッションを経て、「自分たちが感じた・考えたことを、原稿に頼らずに発表する」こととした。

内容は粗末なものもあるかと思うが、高校生が経験値を蓄積する瞬間を見届けて頂ければ幸いである。

以下事後学習で行った、生徒記述のポートフォリオからの抜粋

２．参加動機

何故今回このフォーラムに参加しようと思ったか、理由はあまりにも世界のことを知らなすぎると自覚していたからです。日頃のニュースを見てても難しい言葉ばかり、今この世の中では日本国外ではどのようなことが起きているのか、問題になっているのか私はほとんどと言っていいほど知りませんでした。知らなかったというよりは興味が無かった、といったほうが正しいでしょう。他の人はある程度の知識を持った上、学びにいくとかこのことに興味があるから探求しに行きたいとか、そのような理由なのではないかと思います。ですが私は世界における政治経済の知識は全く、今の日本のことすら人に話せない状態だったと思います。フォーラム研修の前に何度か集まって話し合う機会でも話についていくことが正直難しく、自分で調べたことの知識ほどしかない状態で大丈夫なのか、と出発前に思ったほどです。興味を持つために世界への視野を広げるため、これが今回の済州フォーラム研修に、参加しようと思った一番の理由です。（中井）

３．関心を持ったセッション

パク博士という親善大使の方がフォーラムとは別の時に多摩大生専用にお話を聞かせてくださいました。北朝鮮の核問題に対する日本と韓国についてです。

まず、日本を囲っているアメリカ、ロシア、中国、韓国、北朝鮮は何を持っているでしょうか。そうかです、知っての通り彼らは核を持っています。しかも日本に対してそこまで友好的とは言えません。

（中略）

日本は戦争で核爆弾によって唯一攻撃を受けた国であり、福島原発のような事故もあった。核は持って

いてはいけない、悪用など以ての外だという、反核の象徴なのだと仰りました。だからこそ日本がもっと前面にそのことを掲げて各国を先導して行くべきだと言っていました。
私にはこの言葉が強く心に残りました。なぜなら、私は今までそんな考え方をしたことがなかったからです。今まで海外で、こんな考え方があったのか、と驚かされることは多々ありました。しかし、今までそこまで日本に対していい感情を抱いていない国の人からこんなことを聞けるとは驚きでした。(小柳津)

今回特に研修 3 日目に聞いた『持続可能経営のための企業ガバナンスとイノベーション』は大変に為になる情報が得られたので、この内容に絞って述べていく。
プレゼン者は、あのキッコーマン社の高梨一郎氏で、直々にキッコーマン社の経営実態を説明頂いた。
自分の印象に深く残った、「産業は単に利潤追求を目的とするものではなく、資金獲得の場として存在するものでもない。企業を通じて社会の福祉、国家の発展に寄与すべき公共の義務を負う」という社是をベースにし、その後も家憲として一族の経営方針やガイドラインを明確に定め、それに沿ってきた。
家憲にも最初にあった組織運営の規範の冒頭が、十七条の憲法の「和をもって尊しとなすべき」を使っているという所から、人や社会に優しく、調和していくべき考えを念頭においていることが伺える。
人や社会に恩を売り、いざという時に支えてもらっていたと思しき事から、戦時中の激動の企業生存を果たしたという事にも大変頷ける。(原田)

4．参加しての気づき
正直、行く前は学校をさぼるための口実のようなものだった。
しかし、今回の済州平和フォーラムでは、様々な話を聞くことが出来た。
日韓関係や朝鮮問題、平和な都市づくりやキッコーマンの社長の話など...とてもためになる話を聞けた良い 5 日間だったと思っている。日常生活で気にもとめなかった事を聞いてみることで難しい時代を生きているということを気付かされた。
帰ってきた時には最初のような気持ちは無く、行ってよかった、最高の 5 日間だと帰り道に余韻に浸っていた。今回の旅費を出してくれた親、引率してくれた先生、学校に感謝して未来のやりたいことに繋げられるようにしようと心に誓った。(牛尾)

最初に聞いたソウルでの講演で私は大きな衝撃を受けた。韓国の方なのにやたらに日本を「良く」言うのだ。講演の内容は簡単に言えば「アジア時代とは何か」。中国の経済的な台頭を皮切りにアジアは巨大な経済圏に成長しつつあり、これからの世界経済はこのアジアが中心になっていく、と言う内容だ。しかし所々で日本を「良く」言うのだ。一番耳に残っているのは「3.11 を日本は乗り越えられるだろう。しかし韓国で起きたらもう『終わり』である」という言葉である。
しかし、日本国内の報道を思い出してみると、まるで韓国の方はみんながみんな「日本」について「悪く」思っていると報道しているように受け取れる。それは単に私が日韓関係を政治的な側面からでしか報道していない番組しか観てこなかったからかもしれないが、それにしても多すぎる気がする。
これらのことから私は、日本の各種メディアが報道している内容自体は正しいが、それは個々の事実を報道している事にとどまり、それを全体の意見・思想と捉えることは間違いであると考える。(田代)

AI活用の現在

インターゼミ2019年度AI班:

市川駿、久津間晴夫、野呂瀬晋也、一杉波音、桑原悠、坂本堅辰　(経営情報学部)

大高凜、四枝大樹、和田竜弥、(グローバルスタディーズ学部)

笹川祐子　(大学院経営情報研究学科)

川合紀子　(大学院修了生)

指導教員：久保田貴文、木村太一、高橋恭寛（経営情報学部）、渡邊泰典（グローバルスタディーズ学部）

AI班の研究のゴール

・リサーチクエッション

AIが汎用的に利用される近い将来にどのようなスキルが求められるのか。そのためには、現時点でどのような学びが必要なのか。現時点でAIができることとできないことのギャップは何か。

・二宮町での応用

ディープラーニング　AIvs.教科書が読めない子どもたち

・ニューラルネットワークによる分析・解析を行っているもの。

人間のニューロン(神経細胞)。脳を模倣して作られたもの。

・ディープラーニングによって画像認識における機械学習の効率が飛躍的にup
可能→自動運転での画像認識、医療現場では癌などの早期発見

・誤解の危険性
大量のデータと問いを与えれば、人間にはわからない新しい答えを出してくれるシステムでない。

強化学習　人工知能はどのようにして「名人」を超えたのか

・強化学習を行う上での条件として、目的・目標、制約条件が記述できる課題。
例...将棋,囲碁
機械同士で膨大な数の対局を行うことで、ルールを覚えたり、勝敗を分けた手を変えたりと自ら試行錯誤し、局所で最適な手を選択する。

・特徴
強化学習は教師データを与える必要はなく、良さそうか悪そうかという判断基準を提示できればよいので、（強い囲碁のルーチン（マシーン）を作ることは完全に）機械に任せることができる。

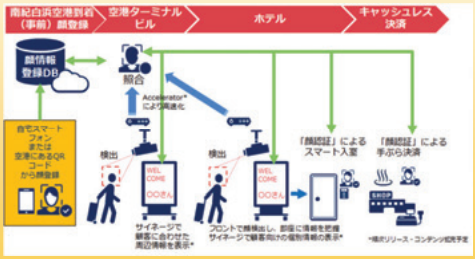
白浜エリア「IoTおもてなしサービス実証」

利便性を高めることで観光客の満足度向上を目指す。

現在は実証段階のため、ごく一部の施設で「IoTおもてなしサービス」を受けることができる。

実証実験は2019年1月～8月末

事前に顔情報、クレジットカード情報を登録し、完了後は空港、ホテルなどの商業施設に設置されたカメラが個人の顔を認証することで決済が自動で行える。



https://jpn.nec.com/press/201812/20181213_02.html

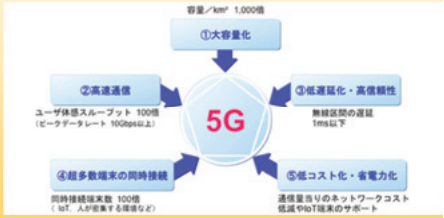
5G (第５世代通信システム)

超高速、大容量に加え

多接続、低遅延

４G世代の時よりも飛躍が期待される。

2020年春商用サービス開始予定



認知症をAIで判別する

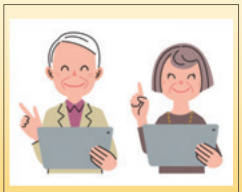
・ **千葉県長生村**・日本テクトシステムズ（東京・港）**で実証実験を開始（全国初）**

声による認知症の早期発見（認知機能の衰えを判定するアプリを使った　実証実験

目的：AIの活用で高齢者の健康寿命の延伸につなげたい。

アプリ「ONSEI」では、スマートフォンなどから「今日は何年、何月、何日、何曜日ですか」といった質問が人工音声で流れる。

https://www.nikkei.com/article/DGXMZO47542180Z10C19A7L71000/



質問と声の周波数などから数十秒で認知症の疑いの有無を判定

ふくやIoT

~Internet of Tarako~

IoT(Internet of Things)
センサーやデバイスと言った「モノ」をインターネットに繋ぎ、取得したデータを活用する仕組み。

ふくやが利用する「ふくやIoT」はSORACOMのIoTシステムを応用し、冷蔵庫内の明太子の量を定期的に計測、なくなる前に新鮮な明太子を自動発注してくれる。

さらに今後ふくやでは明太子がないリスクをより最小化、安定化。米、水、卵なども取り入れたサービスを展開を模索している。

Airbnbについて

・Airbnbは宿泊施設、民泊を貸し出す人向けのウェブサービス

Airbnbの名前の由来は、創業者のブライアンチェスキーとジョー・ゲビアがエアーベッド(Air Bed)を宿泊希望者に使用してもらったことと、イギリス発祥の「B&B」という呼び名に由来する(イギリスでは簡易的なホテルのことを「Bed and Breakfast」の頭文字を取って「B&B」と呼ぶ)。Airbnbの名前は、「エアーベッド(Air Bed)を貸し出す簡易的なホテル(B&B)」から由来する。

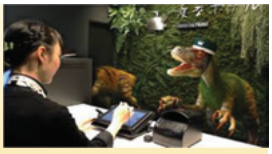
Airbnb需要予測システム

Airbnbはホスト（部屋の提供者）向けにPricingTipsというAIを活用した宿泊需要の予測ツールを提供している。

AIが自動的に適切な価格帯を提示。ホストは自動的に送られてくる情報をもとに価格を設定する。

→初心者でも簡単に料金の適切な価格を知り、空きを少なくすることができる。

変なホテル　とは



ハウステンボスにH27.7.17「スマートホテルプロジェクト」
変なホテル～変わり続けることを約束するホテル～　を開業
・滞在時の快適性
・世界最高水準の生産性を

目指すローコストホテル（LCH）を３つの取り組みにより目指す

・建設コストの削減：世界展開可能な工法
・人件費の削減：自動化とサービスのロボット
・省エネルギー化：光熱費の自給率向上：太陽光発電

変なホテル　の評価・今後

・ロボット：恐竜・女性アンドロイドだけではあきられる
　27種類→15種類（新規には掃除ロボットのみ）
　水に弱いので水回りの掃除ができない
　→アニメキャラの使用権を獲得など

・営業利益率：業界水準：３０%→倍近く
　ハウステンボスでの再生可能エネルギーの実証実験で得たノウハウ

今後：
・完全キャッシュレス
・ロボットにこだわらず新たなICT：顔認証

FW1.サンシャインシティ池袋（観光）

日時：令和（2019)5月18日13時30分～15時30分

場所：株式会社サンシャインシティ 東京都豊島区東池袋3丁目1番1号

目的：AIに関する先進のICT技術を利用した事例について調査
　　観光資源に乏しい地域でも最新テクノロジーを活用できるか考える。

結果：狭い空間の中で、現実のジェットコースターに乗ったような感覚が
　　体験できる。しかし、乗る上で制限があり体験出来ない人が存在してしまう。
　　現実の乗り物より安全性が高いことを活用し観光分野に展開すべき。

FW2.TinyBetter(チャットボット)

日時：令和元年(2019)5月25日13時00～14時30分

場所：TinyBetter株式会社
　　東京都港区赤坂2丁目14号11番天翔オフィス赤坂303近隣の会議室

目的：IoT技術を利用して事業を展開している方に調査して見た

取り組み内容

『ヒグヌル』

・AIが人間に代わりに秘書になる可能性を持つシステム

・LINE・カレンダーアプリやGoogleアプリと連携をすることで個人の予定や他人の予定を終える。

結論：AI機能は搭載されていないが、必要に応じて搭載しAIが問題解決の最適性とは限らない

二宮町　FW　8月4日

二宮町の現状：教育機関は小学校３校、中学校2校、高校1校と教育機関が少ない。空き家の増加に悩まされているが、高齢化が進み自治会が壊滅寸前のため手に負えない状況。また、目立った観光地がなく宿泊施設もないため観光客を呼び込むことができない。

Airbnb利用者にインタビュー：Airbnbを利用し副業として民泊を開いている高橋さんによると、宿は民泊法ではなく旅館業法で運営しており、料金に関しては一泊あたり一部屋平日5000円+3000円(クリーニング代)、お盆・祝日8000円+3000円、稼働率は7割で回している。また、主な利用者は外国人観光客で、二宮町を新宿や渋谷などに行くための拠点として使用しているイメージが強い。

Airbnb民泊活用の今後について

・外国人観光客の利用者増加により、地域に出る影響を考慮し、ホストだけでなくゲスト側のルールも充実させるべき

→地域住民の意見を尊重しつつ観光客や民泊利用者との関係を保つ。

二宮町の名を広める策として、問題となっている空き家を企業又は市の管理下に置いて宿泊地として広めていく。

なぜ？　二宮町周辺は、鎌倉、江ノ島、箱根、東京、横浜、熱海などの観光地が存在し、インバウンドの多くは二宮町を拠点に周辺観光地に訪れている節があるため、そこに着目した。

多摩大学ＡＬ祭
多摩大学目黒高校　起業体験ＳＧ

１年５組　番　田中愛深
２年２組５番　仲江川祐未
２年２組32番　早川光

ＴＭＵ－ＴＵＭ－ＢＬＥＲ！！

１．　プロジェクト、チームについて

我が校で行なわれる、ＡＬ（active learning：自主的に学び、主に学校の専科以外の大学で扱うような内容）をテーマにしたワークショップの内に、今回のビジネスコンテストに出場する企画があったから。

経済、経営学や、マーケティングといった大学で学ぶ専門性の高い内容に、深い興味を持った学生が募集によって集まった。

２．　ビジネスコンテストについて

高校生を対象に、ビジネスプラン（モデル）（：顧客と企業のサービスの提供や利潤取得に至るまでの構造）を作り、その完成度や新規性による優劣を競うコンテストのこと。

３．　社会問題・テーマ

国連が示すＳＤＧs（持続可能な開発目標、１７個の大きな目標と１６９個の細分化された達成基準）のアプローチこそが社会問題解決の分かりやすい糸口として考えていった。当チームでは、環境問題に興味があったため、プラスチックの廃棄問題について考えることにした。

４．　ビジネスプランについて

４－１　大綱

自動販売機で詰め替え容器に入った飲料とタンブラーの販売。

４－２　メリット

タンブラーの使用によりペットボトルの使用量の削減につながると共に保温性を有するなどの機能面、デザイン面でも充実させることができる。

また、中身の飲料はペットボトルよりも安価で環境にやさしい容器を使うことにより、消費者は安く購入することが可能なうえ、環境問題への取り組みへの参加者になることができる。

４－３　デメリット

特定の施設付近でないと販売が難しい。

４－４　想定する顧客

都内に通勤・通学する社会人や学生

４－５　販売方法

学校の敷地、駅舎、公共施設、企業のオフィスの入っているビル、空港などに自動販売機を設置。

５．　感想

当活動を通して、自分たちは提供者として社会を見つめるという体験ができた。

どのような人をターゲットに据え、販売場所をどこにするのか。広告はどのようなものを採用するのか。それらを一つ一つ考えて決定していくうちに、現在社会にある商品・サービスも全て同じ作業を経て、理由付けされたものであることに気付くことができた。

これは自分たちが消費者側にいて、商品の購入、サービスの提供を受ける際にも重要な視点であると思う。なぜなら、提供者の意図を見極め、改めて考えたうえで行動を起こしていくことが消費社会の主役である消費者の責任だと思うからだ。

今後はここで得た知見を活かし、その商品・サービスが「なぜそうなのか」ということにも注目して生活してきたい。

第 11 回 多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

アンケートご協力のお願い

本日はご来学いただきありがとうございました。

ご多用のところ大変恐縮ですが、

アンケートへのご協力をお願い致します。

▼WEB アンケート回答フォーム

https://forms.gle/1wvggsrae4KuCk4d6

＜多摩大学へのアクセス＞

【電車利用案内】

◎　京王線新宿駅～聖蹟桜ヶ丘駅の所要時間→特急 23 分
◎　京王線新宿駅～京王永山駅の所要時間→特急・急行乗り継ぎ 23 分
◎　小田急線新宿駅～小田急永山駅の所要時間→代々木上原乗り換え多摩急行利用 33 分

【バス利用案内】

◎　小田急線・京王線永山駅バス乗り場 2 番「系統永 34 聖ヶ丘団地行」
　「系統桜 06 聖蹟桜ヶ丘駅行」（12 分）、「多摩大学」下車
◎　京王線聖蹟桜ヶ丘駅バス乗り場 12 番「系統桜 06　永山駅行」（18 分）「多摩大学」下車

《永山駅→多摩大学》

8	05, 15, 29, 49
9	09, 29, 49
10	09, 29, 49
11	09, 29, 45
12	00, 15, 30, 45
13	00, 15, 30, 45
14	00, 15, 30, 45
15	00, 15, 30, 45
16	00, 12, 24, 36, 48
17	00, 12, 24, 36, 48

《聖蹟桜ヶ丘駅→多摩大学》

8	02, 14, 26, 40, 52
9	12, 32, 52
10	12, 32, 52
11	12, 32, 52
12	10, 25, 40, 55
13	10, 25, 40, 55
14	10, 25, 40, 55
15	12, 27, 42, 57
16	12, 27, 42, 54
17	06, 18, 30, 42, 54

＜多摩キャンパス構内のご案内＞

＜お帰りのバス時刻表＞

《多摩大学→永山駅》

12	07, 25, 40, 55
13	10, 26, 41, 56
14	11, 26, 41, 56
15	11, 28, 43, 58
16	13, 28, 43, 58
17	10, 22, 34, 46, 59
18	11, 23, 35, 45, 57
19	09, 21, 33, 45, 57
20	09, 21, 33, 45, 57
21	09, 20, 30, 40, 50

《多摩大学→聖蹟桜ヶ丘駅》

12	11, 26, 41, 56
13	11, 26, 41, 56
14	11, 26, 41, 56
15	11, 26, 41, 56
16	11, 23, 35, 47, 59
17	11, 23, 35, 47, 59
18	11, 23, 35, 47, 59
19	11, 23, 35, 47, 59
20	11, 23, 35, 47, 59
21	09, 29, 52

スクールバス　(R1.12.14)

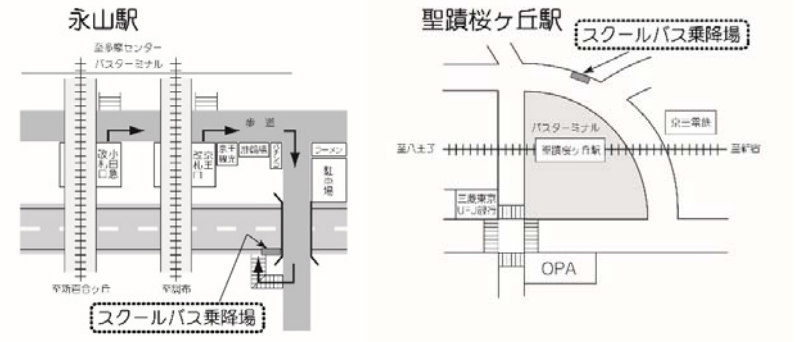
時刻表

聖蹟桜ヶ丘駅 発	永 山 駅 発		中学･高校、大学 発	
中学･高校、大学 行			永 山 駅 行	聖蹟桜ヶ丘駅 行
25　35◎	5　20　30　45　50　55	7		
25◎　55◎	40	8		
25◎　55◎	10　40	9		30＊
25◎　55◎	10　40	10		0＊　30＊
25◎　55◎	05　10　30　40	11	55	0＊　30＊
25◎　55	10　40	12	5　50	5　30＊
25◎	0　15　30　40	13	0　15　30	0＊
25◎	40	14		0＊　30＊
25◎　55◎	40	15		0＊　30＊
25◎	10　40	16	20　45　50	0＊　30＊
		17	45	0＊　30＊
		18		0＊　40＊

◎印の付いた便は、永山駅経由学校行です。

＊印のついた便は永山駅経由聖蹟桜ヶ丘駅行です。

※　スクールバスは定員になり次第、発車します(定刻前に発車する場合があります)。
※　道路事情、運行状況等により、上記時刻は変更になる場合があります。
※　日曜、祝日、夏期休業等の長期休業期間、その他学校が定めた日は運休となります。
※　所要時間は、学校⇔永山駅　片道約10分、学校⇔聖蹟桜ヶ丘駅　片道約15分の予定です。ただし永山駅経由は片道約30分となります。



整列乗車および乗降場周辺の環境整備にご協力をお願いします。

H30.4.1改正

多摩大学　教務課
〒206-0022　東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL　042-337-7113
FAX　042-337-7100